

幼児教育実態調査

【教職員編】

平成23年9月実施

福井県教育委員会

目 次

はじめに	1 頁
I 調査概要	2 頁
II 主な結果	
1 教職員の資質向上	6 頁
2 保幼小連携について	9 頁
3 家庭教育について	11 頁
4 地域教育について	23 頁
5 その他	24 頁
6 自由意見	
（1）本県らしい幼児教育について	30 頁
（2）家庭教育について	33 頁
（3）地域教育（近隣住民、公民館・児童館などの活動）について	37 頁
III アンケート	40 頁

はじめに

福井県では、平成23年9月に策定した「福井県教育振興計画 ～未来を拓く人づくりプラン～」において、ゼロ歳から高校を卒業する18歳まで、一貫した考えの下で、福井県の将来を担う子どもたちを育てていく「福井型18年教育」の推進を掲げました。

本県の小中学生の学力・体力は全国トップレベルにあります。この礎となったのは、小中学校だけでなく、保育所・幼稚園や保護者の皆さんが努力を重ねてこられた成果です。

幼児教育の時期は、人間形成の基礎を担う最も大切な時期ですが、全国的な制度として、保育所・幼稚園に関する行政の施策は市町が行うこととなっており、都道府県が直接実施することはほとんどありませんでした。

幼児教育について、県全体で実態を調査したデータは全国的にもほとんどないのが実情であり、この分野での施策が市町ごとに行われてきたことと関係しています。

福井県では「福井型18年教育」を進める中で、県も保育所、幼稚園やご家庭の保護者の皆さんと手を携えて、幼児教育をより質の高いものにしていきたいと考え、「幼児教育プログラム策定委員会」を設置し、保育士・幼稚園教諭・小学校1～2年生担任教諭3,000人を対象に、本県初となる県下一斉のアンケートを実施しました。

この調査結果によって、これまでに統計的に明らかにされてこなかった幼児教育現場の現状などが、少しずつ明らかになってきました。

改めて、幼児教育の“今”を知ることで、家庭や地域、保育所・幼稚園の皆さんとともに、将来を一緒に考え、福井県の特長を生かした幼児教育がより一層向上していくよう、議論を深めていきたいと考えております。

I 調査概要

- 1 目的 幼児教育プログラムの策定に当たって、保育所や幼稚園、認定こども園、小学校現場の実態を明らかにし、具体の施策に反映させる。
- 2 調査時期 平成23年9月
- 3 対象者数 県内保育所に勤務する保育士 2,000人
県内幼稚園に勤務する幼稚園教諭 500人
県内小学校に勤務する1・2学年担任教諭 500人
合 計 3,000人
- 4 調査方法 県内保育所・幼稚園・小学校に直接郵送し、返信用封筒で県に回答

5 基本調査概要

(1) 回答者数

回答者 2,478 人 (回答率 82.6%) の内訳は下表のとおりとなった。

ア 施設別内訳

	回答数	割合
公立保育所	534	21.5%
私立保育所	1,075	43.4%
国公立幼稚園	181	7.3%
私立幼稚園	177	7.2%
認定こども園	38	1.5%
小学校	448	18.1%
未記入・無効等	25	1.0%
計	2,478	100.0%

イ 地域別内訳

	回答数	割合
福井・坂井	1,308	52.8%
奥越	222	9.0%
丹南	592	23.9%
嶺南	337	13.6%
未記入・無効等	19	0.8%
計	2,478	100.0%

※私立小学校は1校のため合算した。

(2) 回答者の資格

保育士資格、幼稚園教諭または小学校教諭免許の複数を持っている回答者が多く、回答者数 (2,478 人) の 1.5 倍となった。

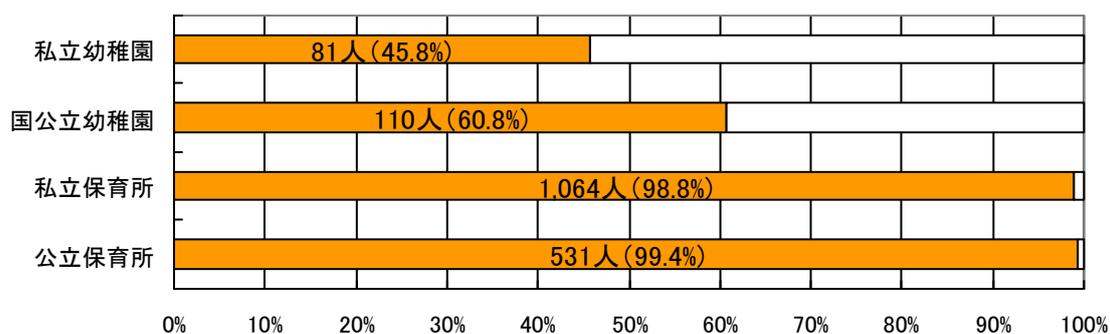
	回答数	割合
保育士	1,849	74.6%
幼稚園教諭	1,372	55.4%
小学校教諭	558	22.5%
未記入・無効等	12	0.5%
計	3,791	153.0%

また、施設ごとの資格・免許の状況は下表とおりで、保育士と幼稚園教諭をともに有する教職員の割合が多い。

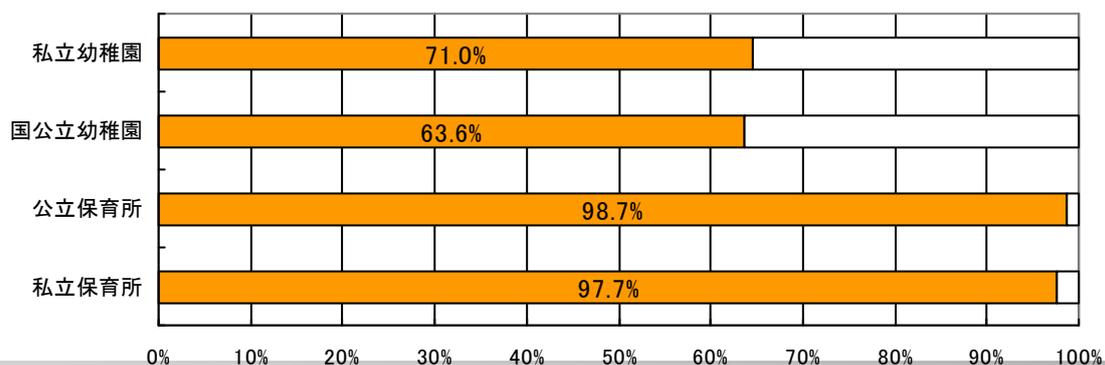
資格・免許の状況	国公立幼稚園	私立幼稚園	公立保育所	私立保育所	認定こども園	小学校	未回答	計
保育士のみ			180	477	1		4	662
保育士&幼稚園教諭	110	81	351	581	31		10	1,164
保育士&小学校教諭				6				6
幼稚園教諭のみ	45	78	2	6	4		3	138
幼稚園教諭&小学校教諭	21	12			1	30	2	66
小学校教諭のみ	2	1		1	1	410		415
無回答	3	5	1	4		8	6	27
計	181	177	534	1,075	38	448	25	2,478

保育士資格を例に、本県と全国の保有状況を比較したところ、私立幼稚園での保育士資格の保有率が全国よりも低い結果となった。

保育士資格を有する割合(福井県)



保育士資格を有する割合(全国調査)



(3) 勤務する施設の形態内訳

教職員が勤務する施設の形態では、全体では「単独設置」が 85.3% (2,109 人) と最も多かった。

また、国公立幼稚園では「幼稚園と小学校併設」が 59.1% (107 人) と最も多いが、公立保育所では「単独設置」が 92.9% (1,061 人) が最も多かった。

	単独設置	幼稚園、小学校併設	保育所、小学校併設	幼稚園、保育所併設	幼稚園、保育所、小学校併設	無回答	総計
国公立幼稚園	52	107		14	7	1	181
私立幼稚園	164	1		12			177
公立保育所	496	1	6	23	5	3	534
私立保育所	1,061	2	1	5	1	5	1,075
認定こども園	14			23	1		38
小学校	319	118	2		7	2	442
無回答	3	5		9		8	25
計	2,109	234	9	86	21	19	2,472

6 「幼児教育・保育についての基本調査（ベネッセ次世代育成研究所）との比較

平成 19 年から 20 年にかけて、ベネッセ次世代研究所が保育所・幼稚園の教育活動、子育て支援、保護者とのかかわりなどに関する意識・実態に関する保育所・幼稚園を対象とした全国にアンケート調査を実施しました。

本県の調査では、ベネッセ次世代育成研究所の調査と設問事項などで整合をとることで、全国と本県の相違点などを分析することとします。

区分	調査時期	調査対象	対象区域	回答数		
幼稚園編	H19.6 月	園児数 30 人以上の国公立幼稚園長・副園長・主任（1 園につき 1 名が回答）	国内全域	（全体）対象数 7,100 回答数 1,604 回答率 22.6%		
					国公立	私立
				回答数	401	1,203
				回答率	28.2%	21.2%
				（本県の割合）国公立 1.7% 私立 0.8%		
保育所編	H20.9～10 月	園児数 30 人以上の認可保育所長・施設長（園長）、副所長・副施設長（副園長）、主任（1 園につき 1 名が回答）	国内全域	（全体）対象数 12,100 回答数 3,018 回答率 25.2%		
					公営	私営
				回答数	1,584	1,434
				回答率	26.4%	23.9%
				（本県の割合）公営 1.5% 私営 2.1%		

※1 本文中では「幼児教育・保育についての基本調査」を「全国調査」と表記します。

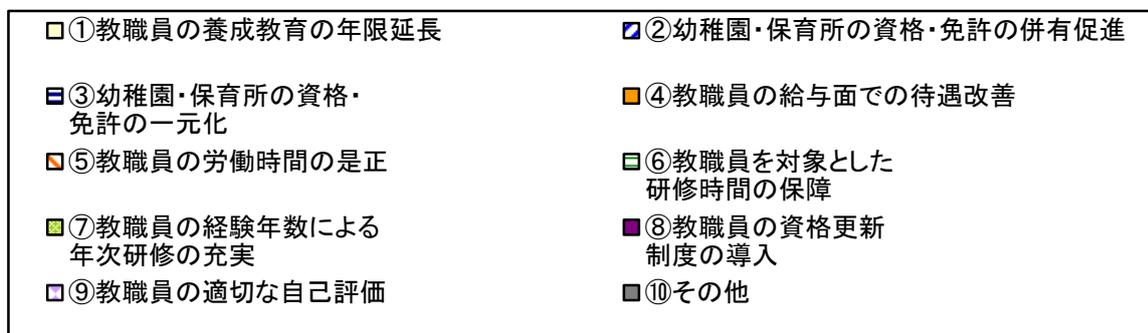
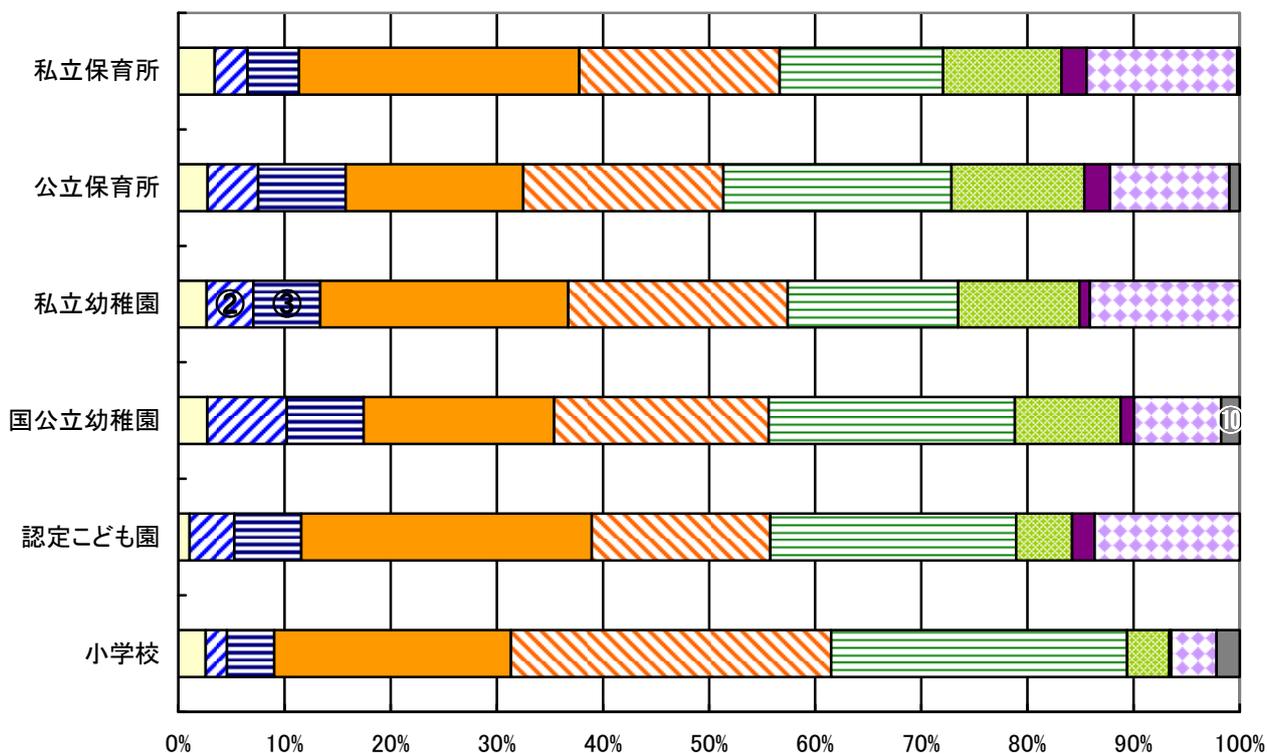
2 同調査の分類区分である「公営保育所」「私営保育所」を「公立保育所」「私立保育所」と表記します。

Ⅱ 主な結果

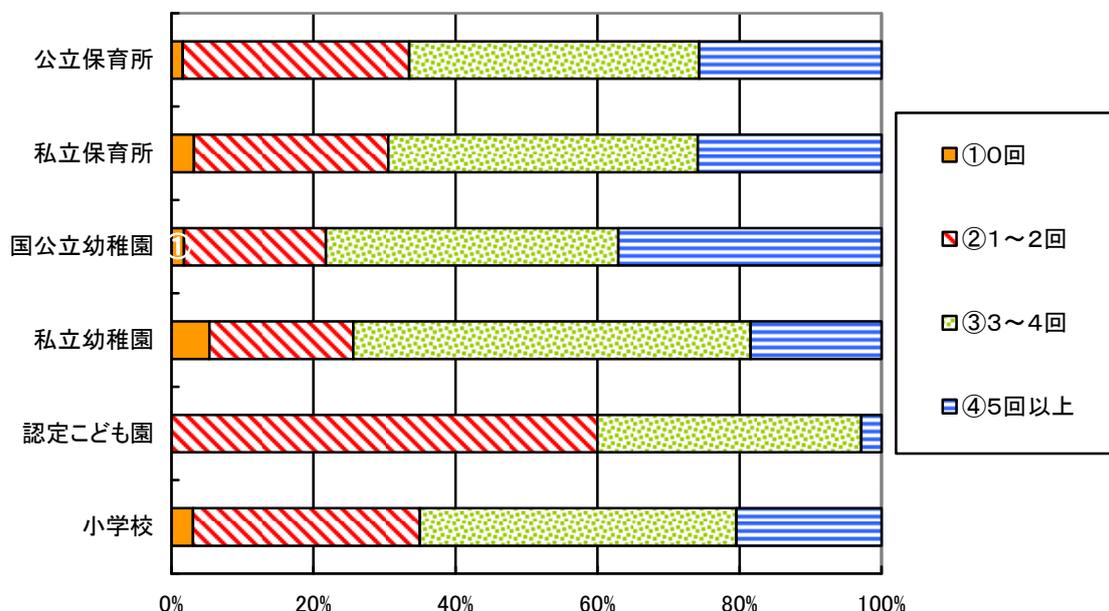
1 教職員の資質向上について

(1) 教職員の資質向上のために必要だと思うこと（該当するもの3つまで）

私立保育所・幼稚園では「教職員の給与面での待遇改善」、国公立保育所・幼稚園では「教職員の対象とした研修時間の保障」、小学校では「教職員の労働時間の是正」が最も多かった。

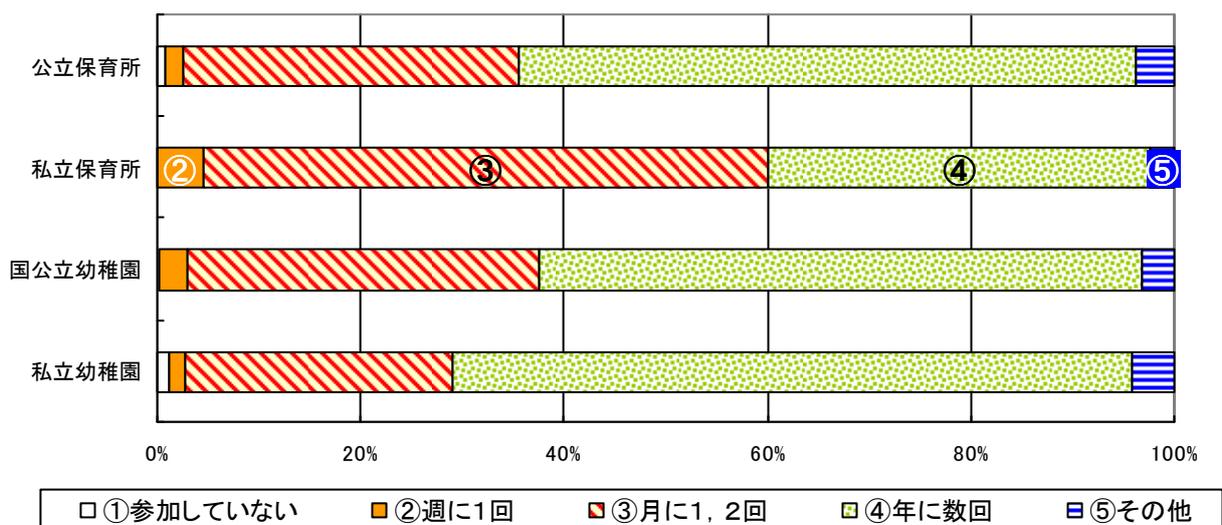


(2) 教職員を対象とした園(校)外研修の1人当たりの参加状況(平成22年度)
 全体では「3～4回」の研修実績(41.2%)が最も多く、次いで「1～2回」
 (26.8%)となっている。また、私立幼稚園では「3～4回」の研修実績(53.1%)
 が半数を超えている。



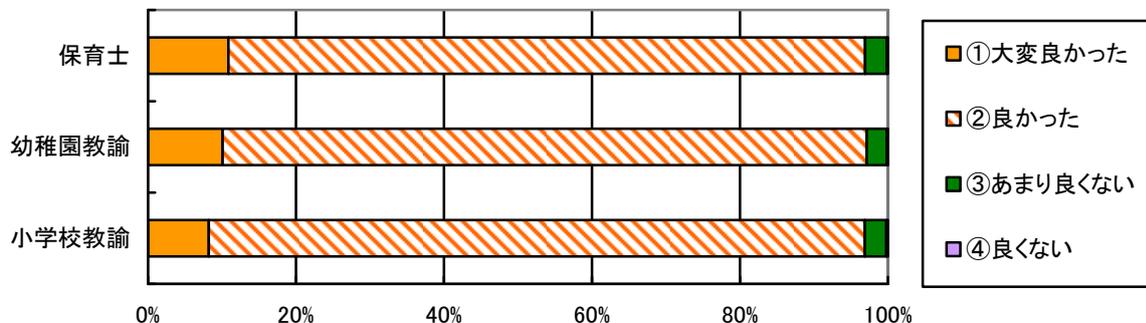
また、全国調査においては、私立保育所が54.0%の割合で「月に1, 2回」
 の園外の研修を受講している。その他施設では、「年に数回」研修を受講してい
 る割合が最も高く、60%前後となっている。

保育所・幼稚園が許可して教員が受講する園外研修(外部講習会など)
 ～全国調査～



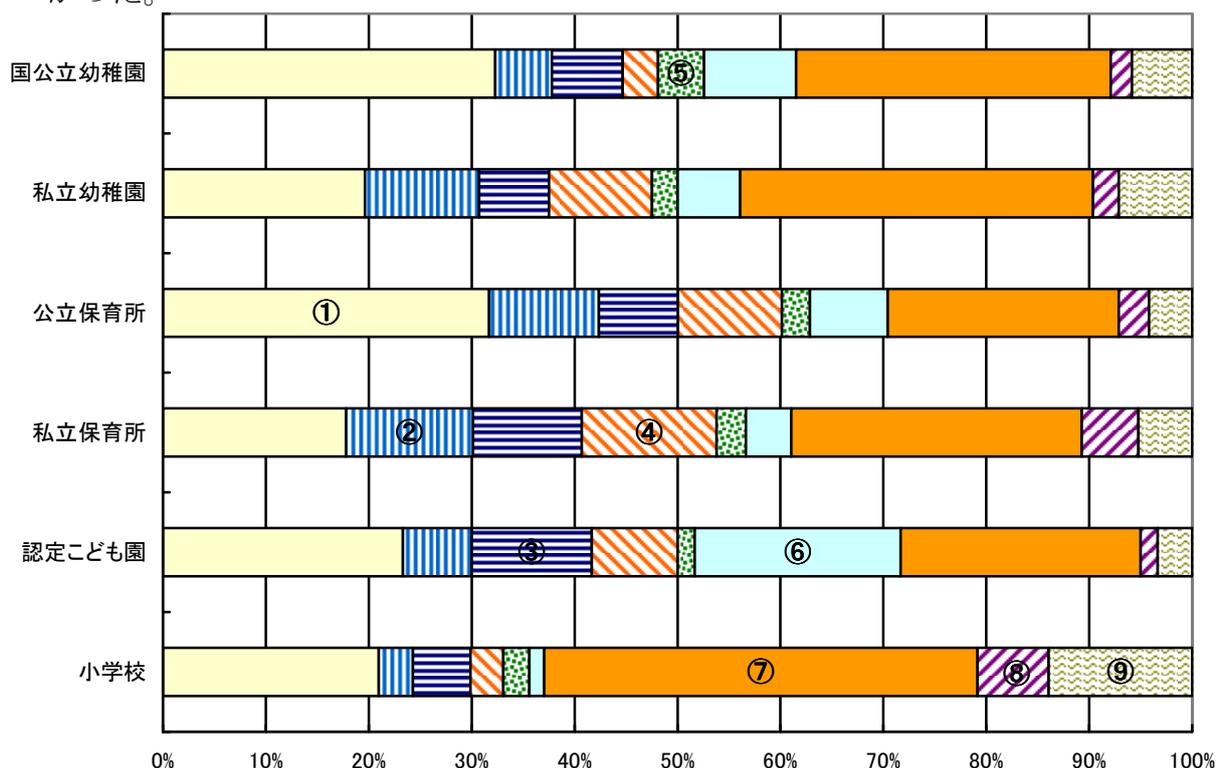
(3) 貴方が平成22年度に参加した園(校)外研修の感想

全職種で「大変良かった」、「良かった」と答えた教職員が88.4%を占め、研修内容に満足している結果となった。



(4) 教職員研修の改善点(該当する事項2つまで)

国公立幼稚園では「研修参加時に保育を交替する職員を確保すること」が、これ以外の施設では「教職員が参加しやすい日時で研修を開催すること」が多かった。

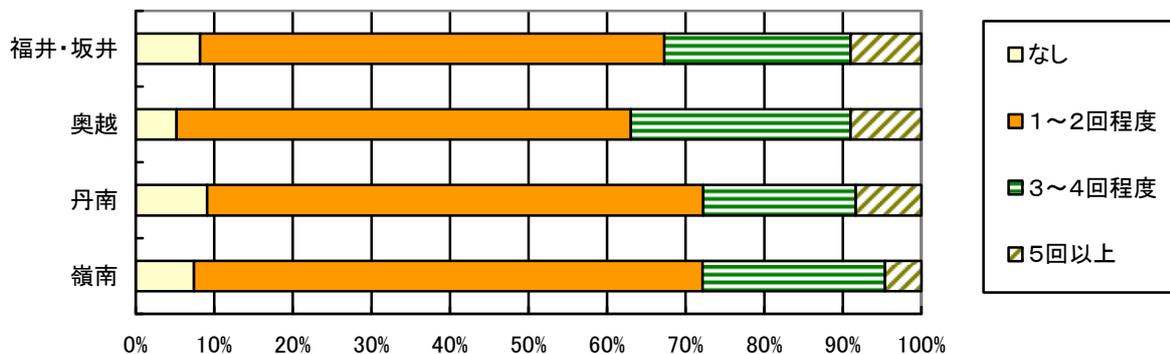


- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| □① 研修参加時に保育を交替する職員を確保すること | ■② 研修カリキュラムなど年間日程の連絡・案内を早くすること |
| ■③ 職員育成、資質向上等の考え方を体系的に示すこと | ■④ 受講後の園内で活用・周知する方法を提示すること |
| ■⑤ 研修実施団体を整理・統合または案内を一元化すること | □⑥ 幼稚園と保育所の研修に相互に乗入れ可能とすること |
| ■⑦ 教職員が参加しやすい日時で研修を開催すること | ■⑧ インターネットを利用するなど、研修方法を多様化すること |
| ■⑨ 研修内容な方法を改善すること | |

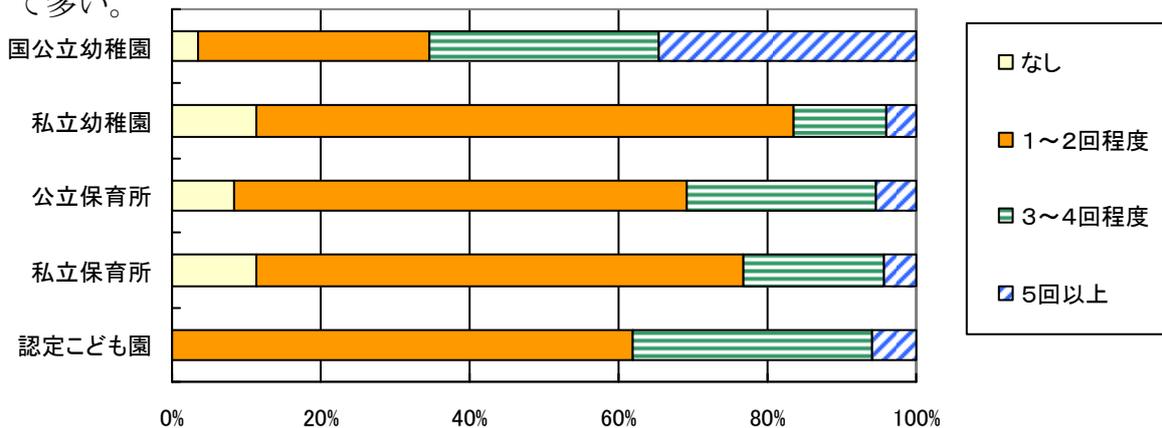
2 保幼小連携について

(1) 幼稚園・保育所と小学校の交流の有無・実績（平成 22 年度）

いずれの地域においても「1～2回程度」の交流実績と回答した教職員数が半数を超えている。

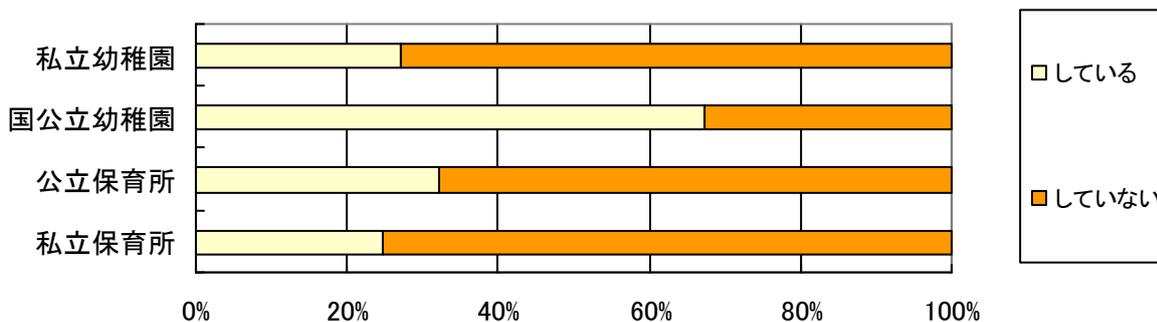


保育所・幼稚園と小学校との交流状況は下表のとおりで、小学校と併設する施設が最も多い国公立幼稚園では「5回以上」の割合が 33.1%と他施設に比べて多い。



また、全国調査においても、本県と同様に国公立幼稚園の交流が他施設と比べて盛んとなっている。

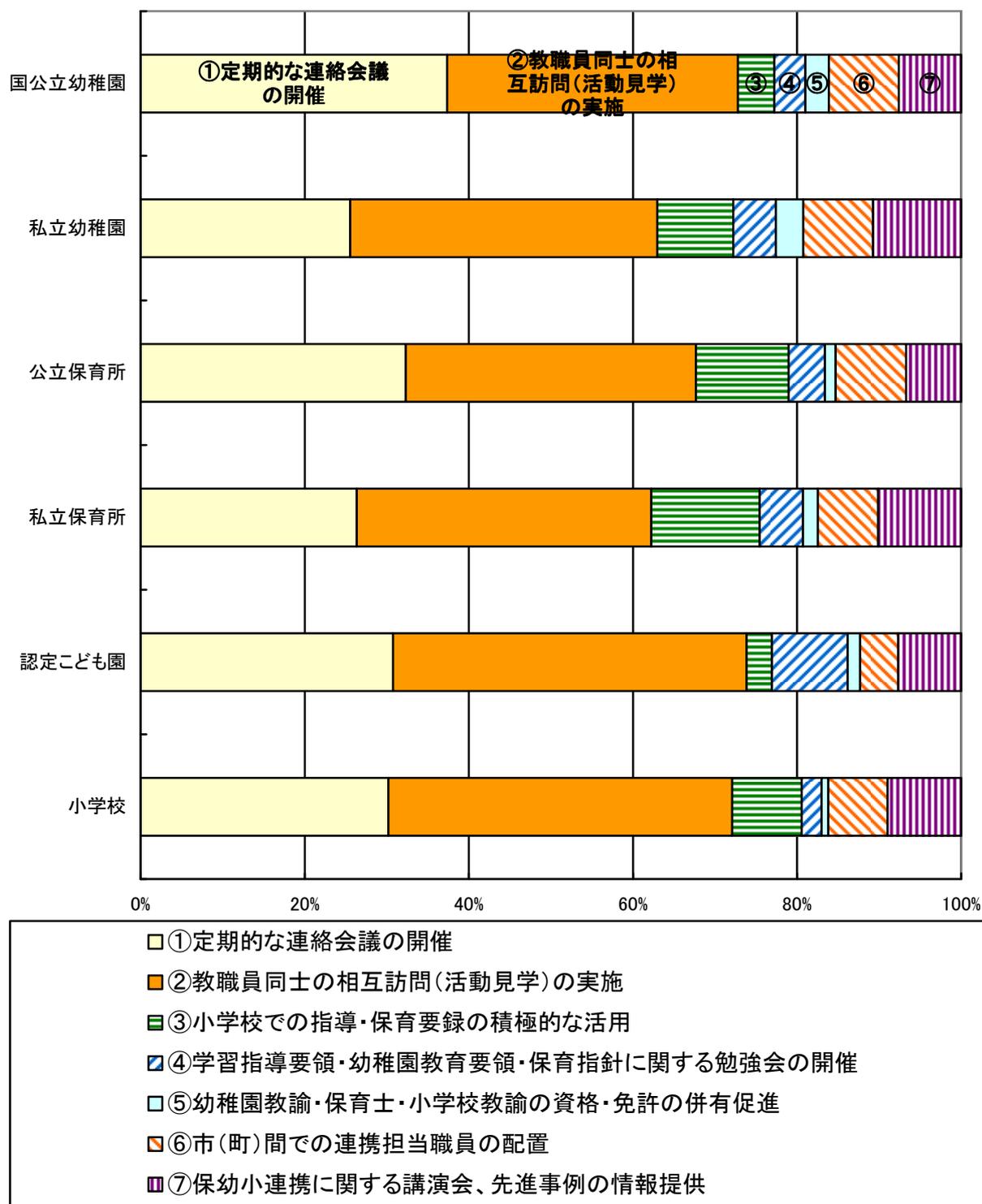
園の教員・保育士等と近接の小学校の教員の交流 ～全国調査～



(2) 教職員間で保幼小連携を進めるための具体的な方策(該当する事項2つまで)

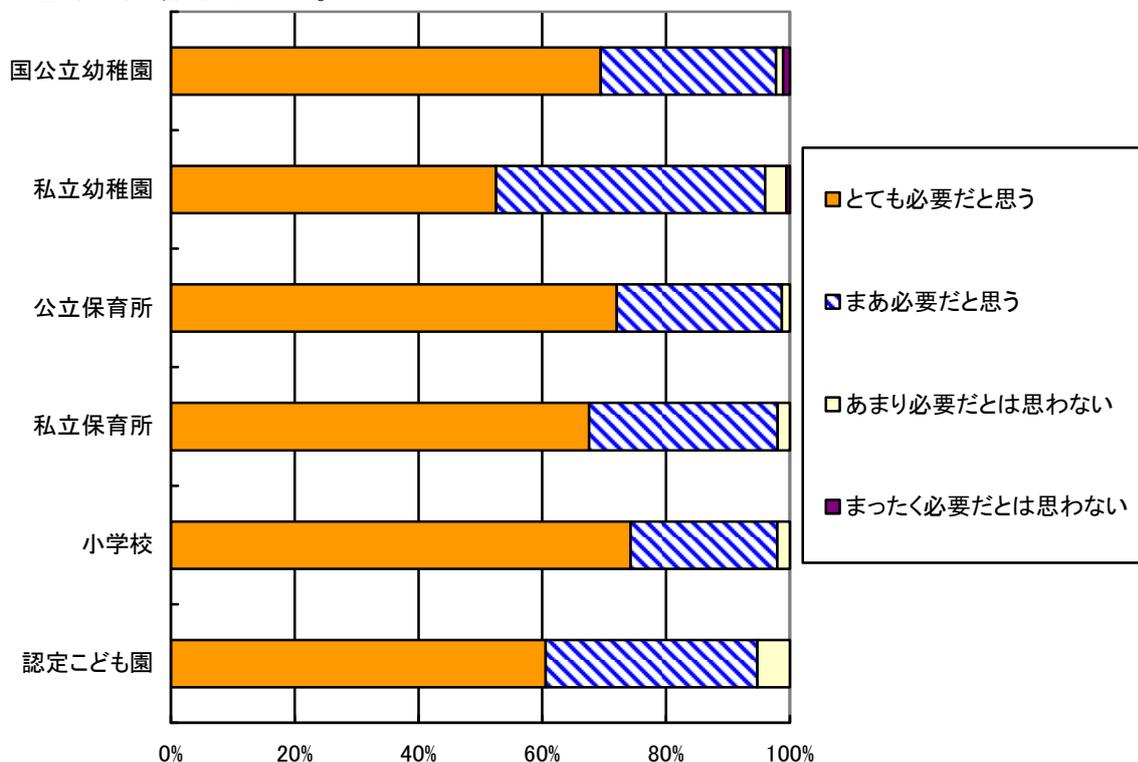
「教職員同士の相互訪問(活動見学)の実施」を選択した教職員が最も多く、次いで「定期的な連絡会議の開催」と続いている。

特に、保育所では「小学校での指導・保育要録の積極的な活用」を選択した割合が高い。



(3) 幼稚園または保育所から保護者に対し、小学校入学への準備（主に生活面）に関する情報提供は必要と思いますか。

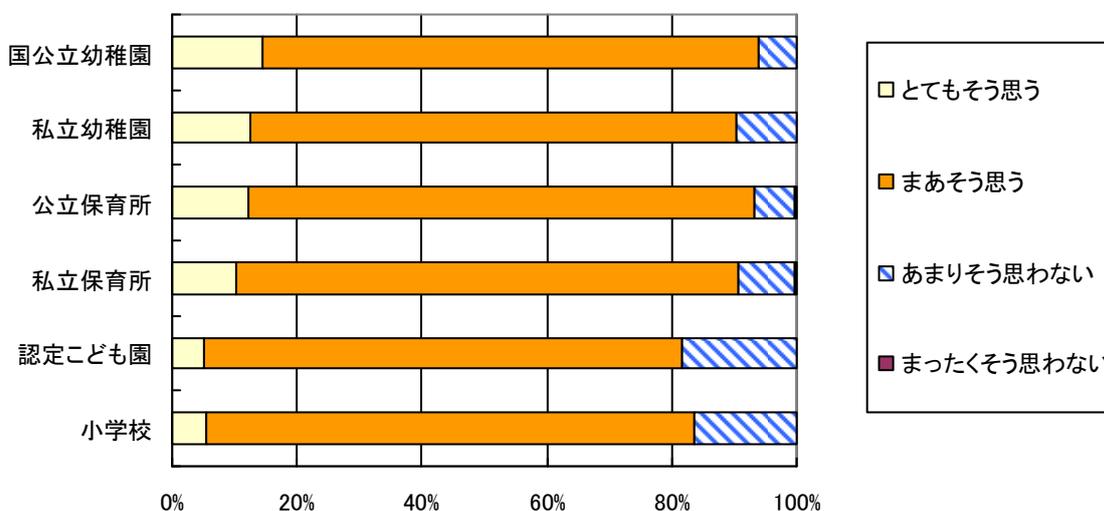
すべての施設で「とても必要だと思う」と「まあ必要だと思う」の合計が100%近くの回答となった。



3 家庭教育について

(1) 日常的に保護者とよくコミュニケーションがとれていると思いますか。

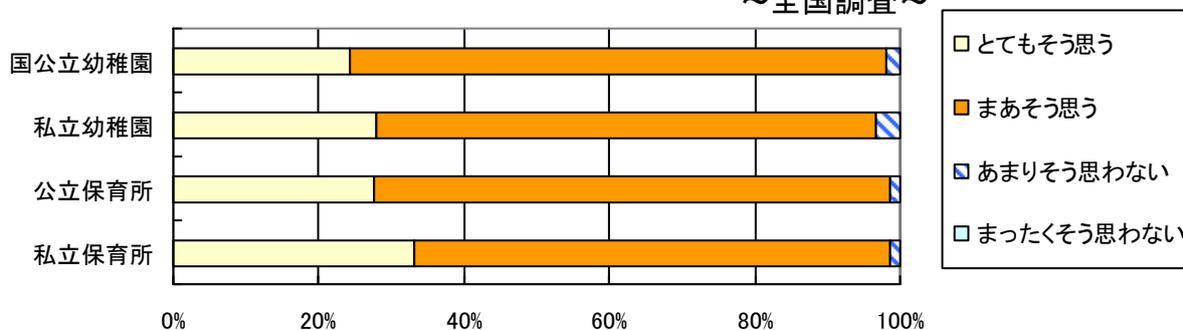
すべての施設で「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計が概ね80%を超えている。小学校では、保育所や幼稚園に比べて「あまりそう思わない」と回答した割合が高くなっている。



また、全国調査では、本県と比較して、「とてもそう思う」と回答した割合がすべての施設で高い結果となっている。

日常的に、保護者とよくコミュニケーションがとれていると思うか

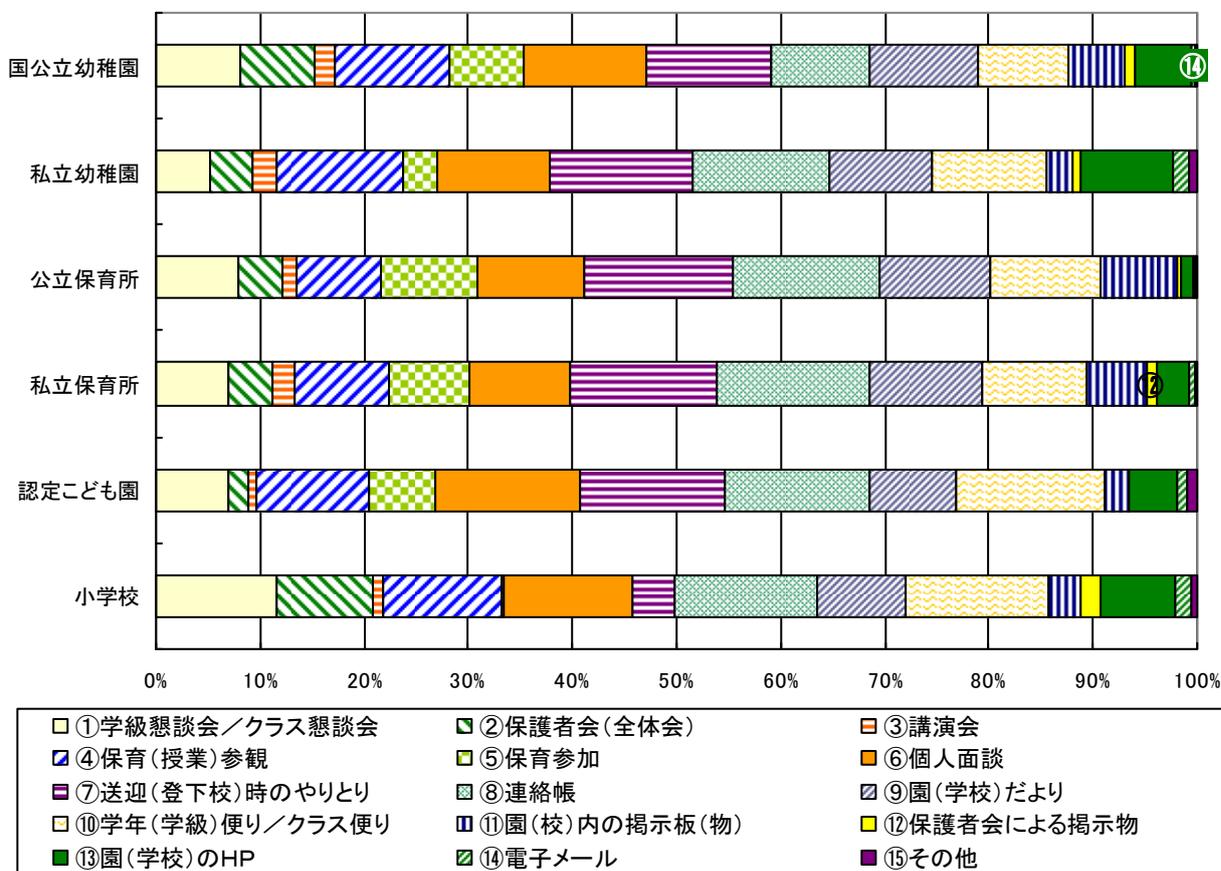
～全国調査～



(2) 園児・児童に関する情報や園（学校）での様子を保護者にどのように伝えていきますか（複数回答可）。

保育所および幼稚園では、「送迎（登下校）時のやりとり」、次いで「連絡帳」での伝達が多い。小学校では「連絡帳」が最も多くなっている。

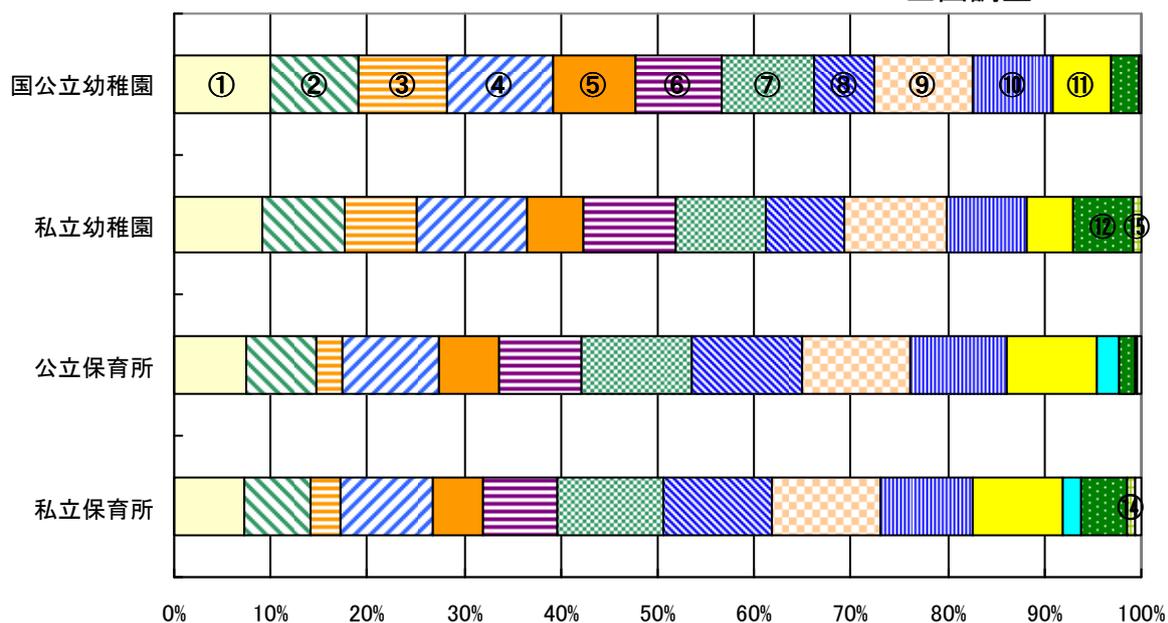
また、私立幼稚園や小学校ではホームページや電子メールを活用した伝達も多い。



本県と全国を比較したところ、幼稚園においては、全国では「保育参観（国公立 97.0% 私立 95.5%）」が最も高いが、本県では「送迎時のやりとり（国公立 80.7% 私立 87.6%）」が最も高い。

また、保育所において、全国では、公立が「送迎時のやりとり（95.4%）」、私立が「園だより（95.4%）」が最も高く、本県では、公立が「送迎時のやりとり（88.4%）」、私立が「連絡帳（90.9%）」が最も高い。

園の情報や園の様子をどのような方法で保護者に伝えているか
～全国調査～

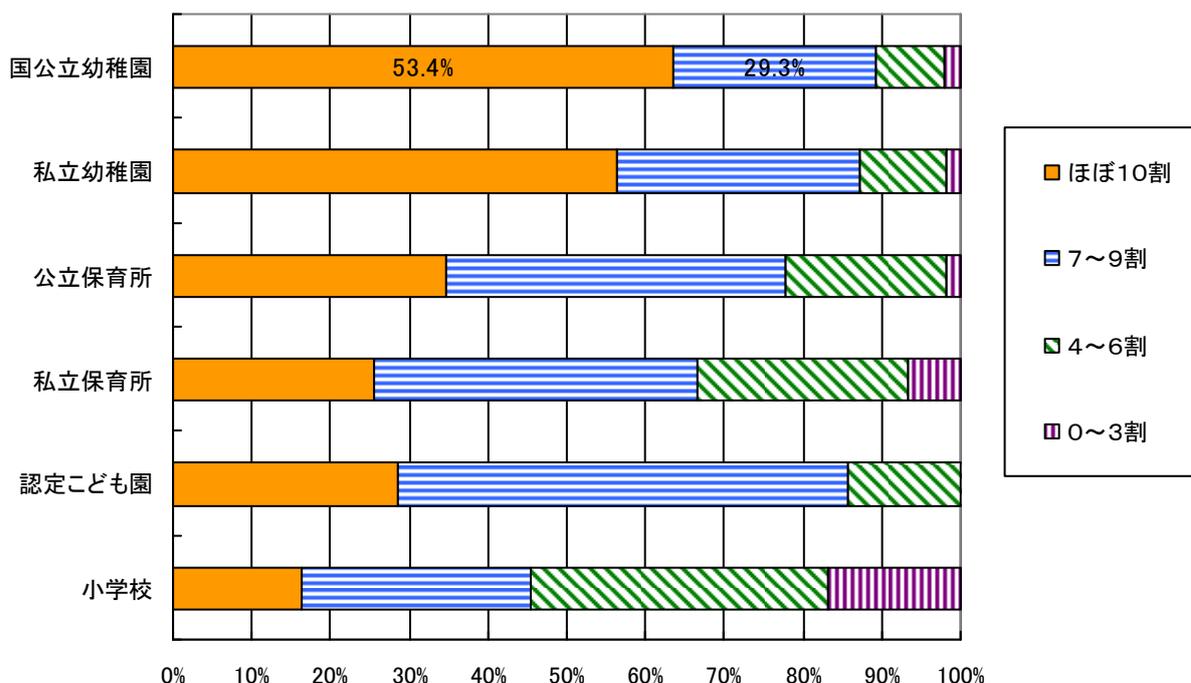


- ①学級懇談会/クラス懇談会
- ②保護者会/保護者会(全体会)
- ③講演会
- ④保育参観
- ⑤保育参加
- ⑥個人面談
- ⑦送迎時のやりとり
- ⑧連絡帳
- ⑨園だより
- ⑩学年(学級)便り/クラス便り
- ⑪園内の掲示物/園による掲示物
- ⑫保護者会による掲示物
- ⑬幼稚園/保育所のホームページ
- ⑭電子メール
- ⑮その他

(3) 「学級懇談会」、「保護者会」、「講演会」、「保育参観」、「保育参加」の保護者の平均参加率の状況

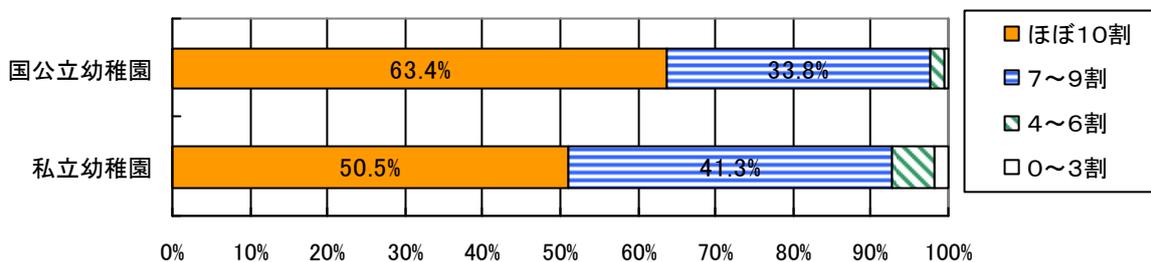
ア 学級懇談会

「ほぼ10割」と回答した割合の高い施設は、①国公立幼稚園(59.0%)、②私立幼稚園(53.4%)、③公立保育所(30.9%)、④認定こども園(26.7%)の順となった。



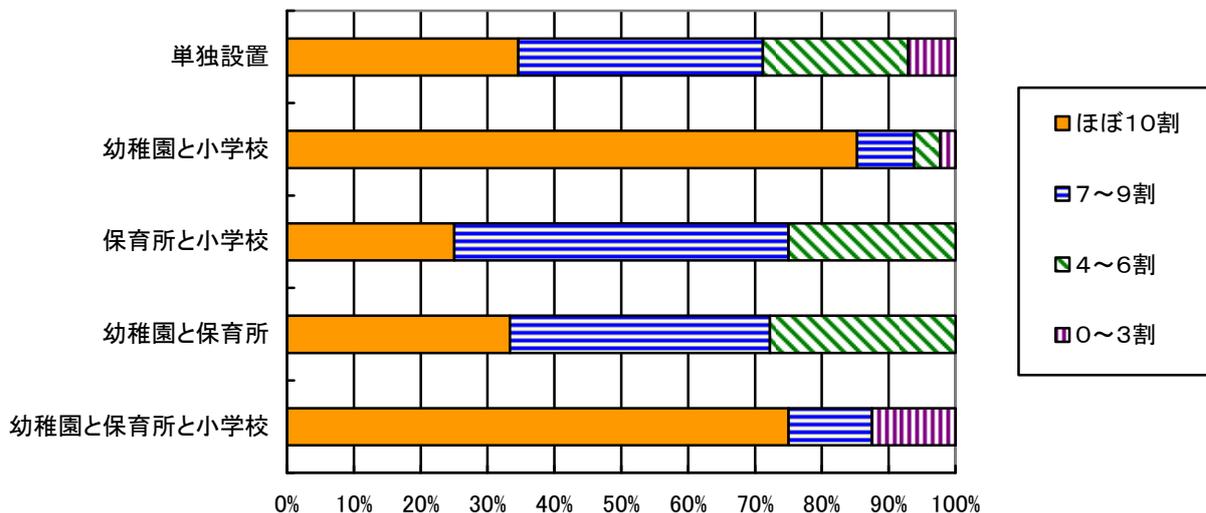
本県幼稚園と全国を比較した場合、「ほぼ10割」と「7~9割」の合計が全国では概ね90%程度に対し、本県の概ね80%程度と比較して10%程度多い。

学級懇談会 保護者の平均参加率(幼稚園)～全国調査～



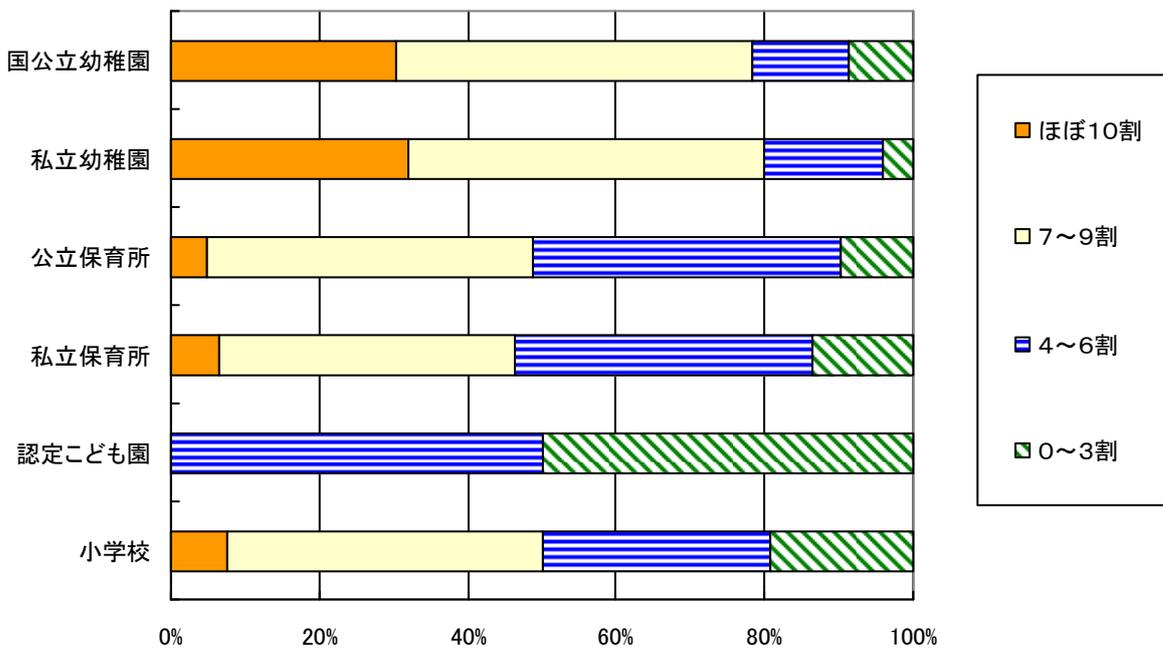
イ 保護者会

「幼稚園と小学校」82.7%、「幼稚園と保育所と小学校」75.0%の併設施設での参加率が高く、「保育所と小学校」25.0%、「幼稚園と保育所」33.3%の順に参加率が低かった。



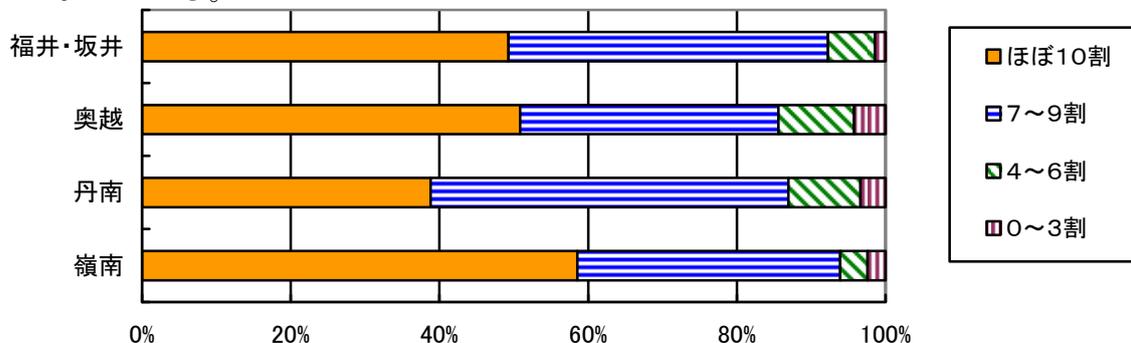
ウ 講演会

「ほぼ10割」と回答した割合が高かったのは私立幼稚園（30.8%）、公立幼稚園（28.0%）と幼稚園が高く、「0~3割」と回答した割合が高かったのは子ども園（50%）、小学校（18.5%）、私立保育所（12.6%）の順となった。



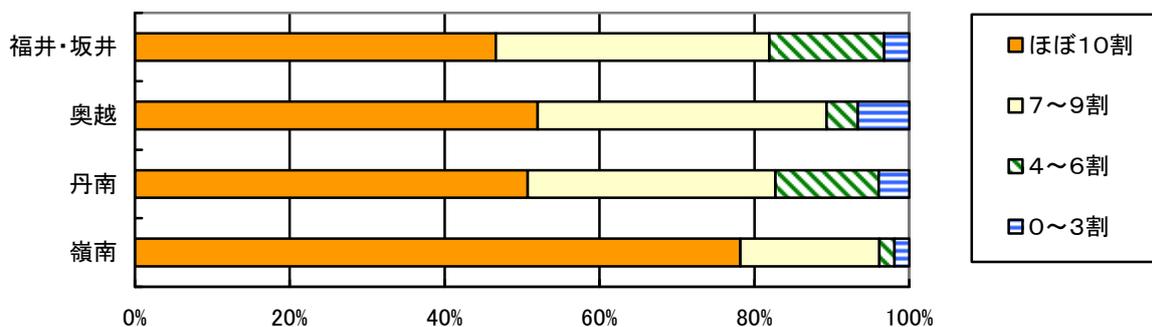
エ 保育参観

すべての地域で、「ほぼ10割」と「7～9割」の合計が概ね80%の回答となっている。



オ 保育参加

すべての地域で、「ほぼ10割」と「7～9割」の合計が概ね80%の回答となっている。特に、嶺南地域では87.7%と最も高くなっている。



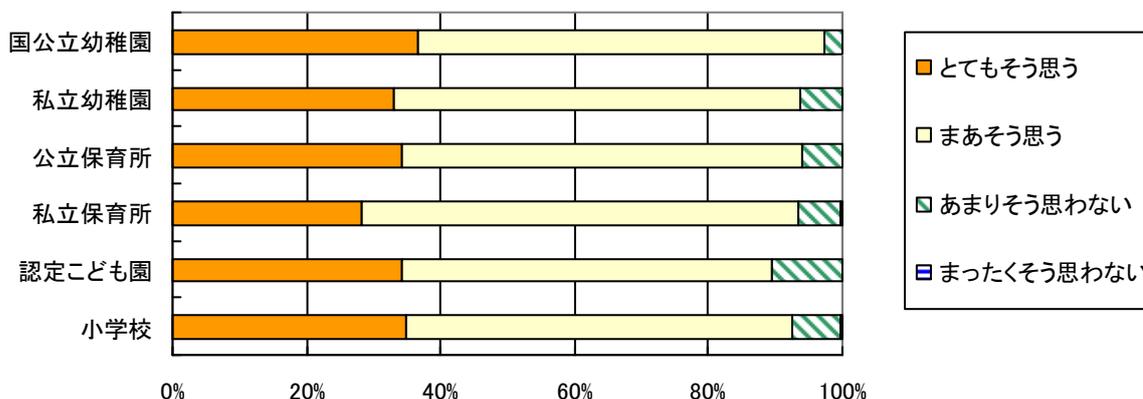
(4) 学校等で家庭教育を支援・指導することについて

家庭教育を支援・指導することについて、本県教職員は全国に比べて一層の支援が必要と考える一方、教職員の負担が大きくなることを危惧している。

また、家庭教育を支援・指導した場合、保護者の依存を招くと考えている割合も全国に比べて高い結果となっている。

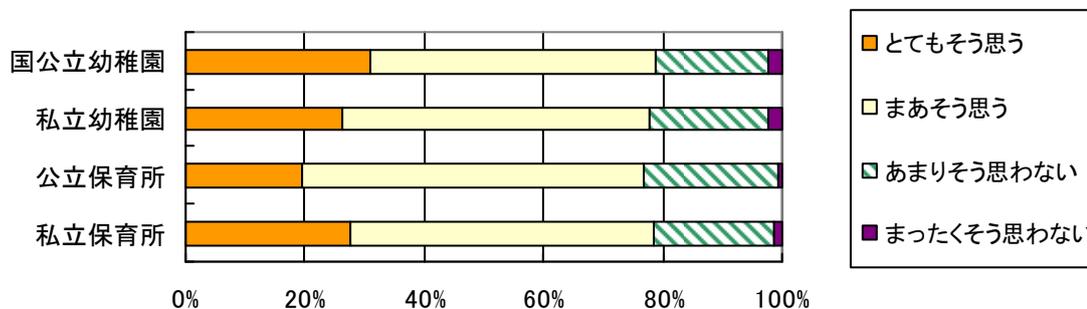
ア 学校等の運営上、プラスになる

すべての施設で、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計が概ね90%の回答となっている。



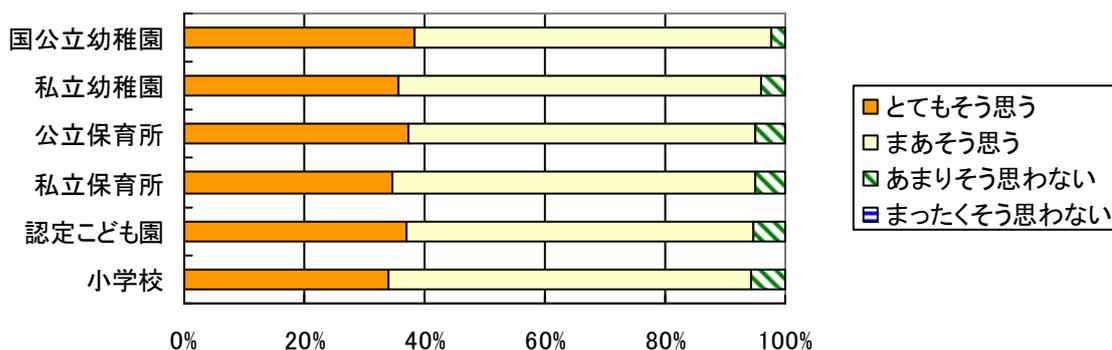
本県と全国を比較した結果、全国では「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」の合計の割合が本県の2倍以上となっている。

園の運営上、プラスになる ～全国調査～



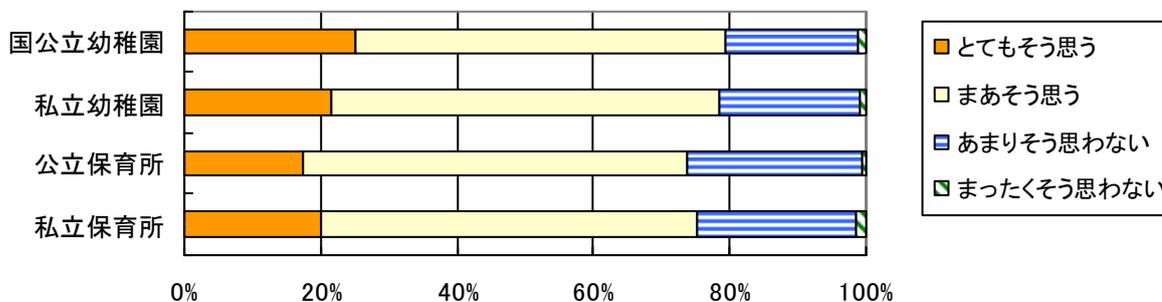
イ 園児・児童の教育・保育環境がよくなる

すべての施設で、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計が概ね 80% の回答となっている。



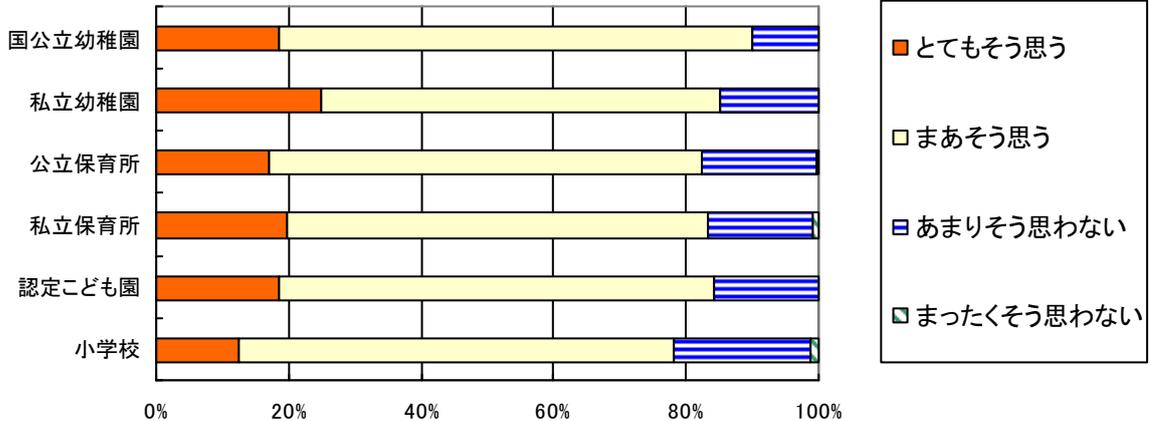
本県と全国を比較した場合、「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」と割合の合計が、全国では 20%前後となり、本県の 4 倍以上となっている。

乳幼児の教育・保育環境がよくなる ～全国調査～



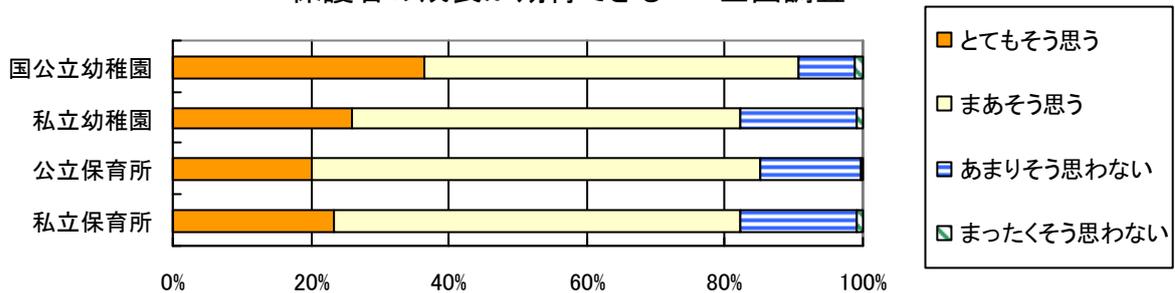
ウ 保護者の成長が期待できる

すべての施設で、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計が概ね 80% の回答となっている。



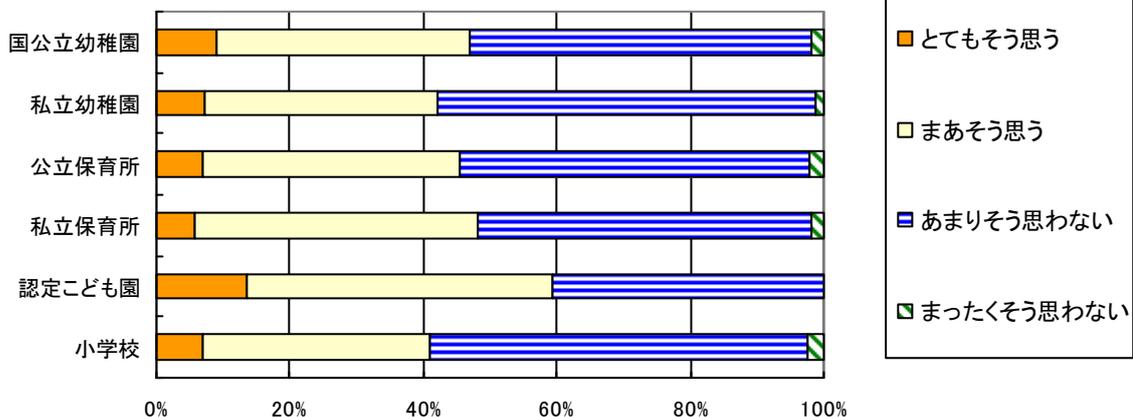
本県と全国を比較した場合、国公立幼稚園では「とてもそう思う」と回答した割合が、全国では 23.4% で、本県 (18.2%) に比べて 5% 高い回答率となっている。

保護者の成長が期待できる ～全国調査～



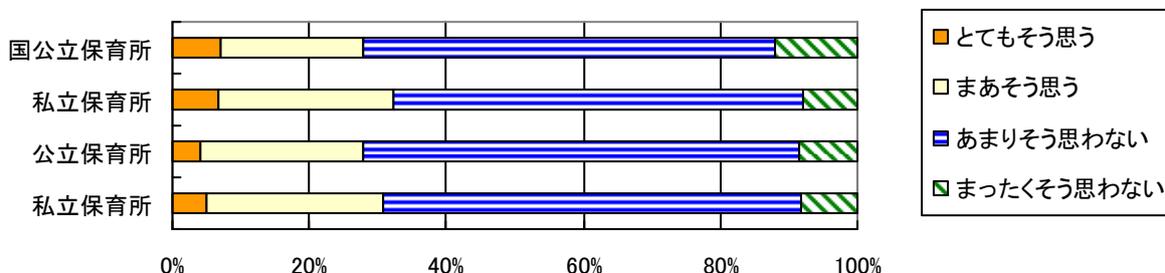
エ 保護者の依存を招く

「とてもそう思う」と「まあそう思う」の割合の合計が 44.4% で、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」の割合の全体 52.1% と意見が割れている。



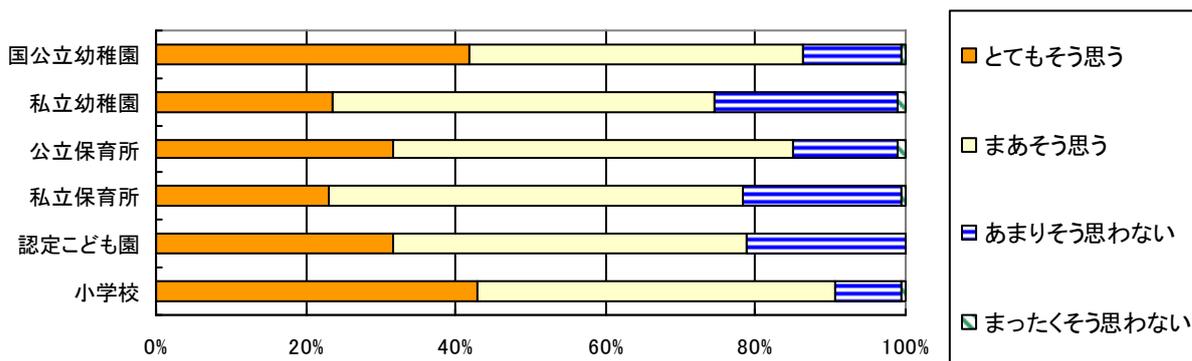
本県と全国を比較した場合、「とてもそう思う」と「まあそう思う」と回答した割合が、全国では 25～29%で、本県（44.4%）に比べて 15%以上低い回答率となっている。

保護者の依存を招く ～全国調査～



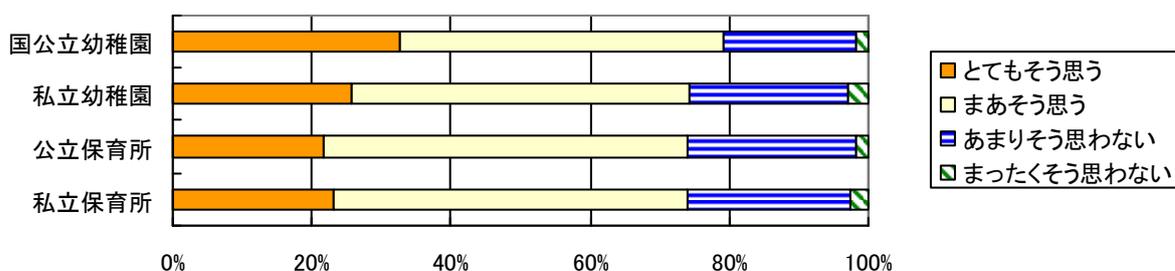
オ 教職員の負担が大きい

国公立幼稚園、公立保育所と小学校では、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計が 80%以上で、私立幼稚園、私立保育所と認定こども園では合計が 70%台と 10%程度低くなっている。



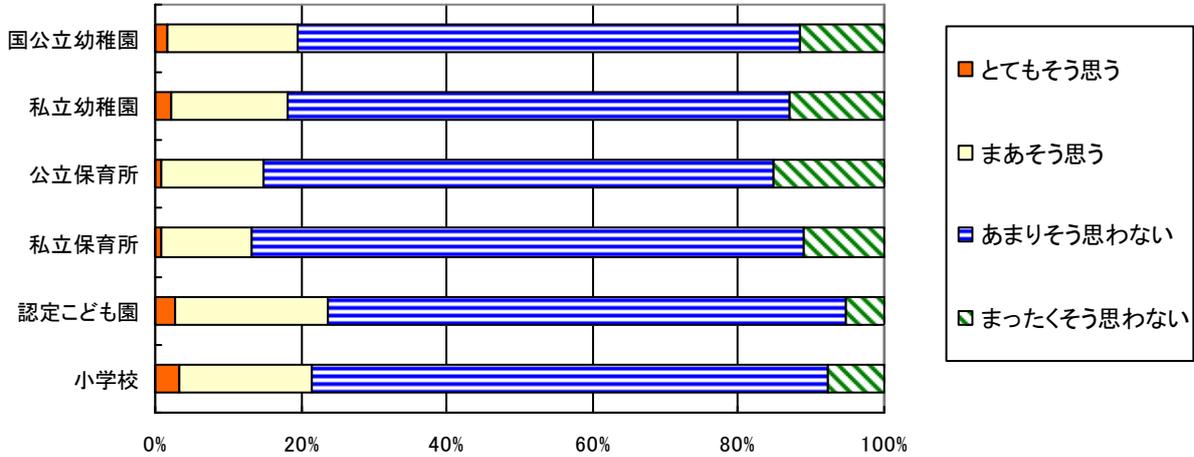
本県と全国の比較では、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の割合の合計が 10%程度低くなっている。

教職員/保育士等の負担が大きい ～全国調査～



カ 学校等の本来の教育・保育活動の質にマイナスの影響がある

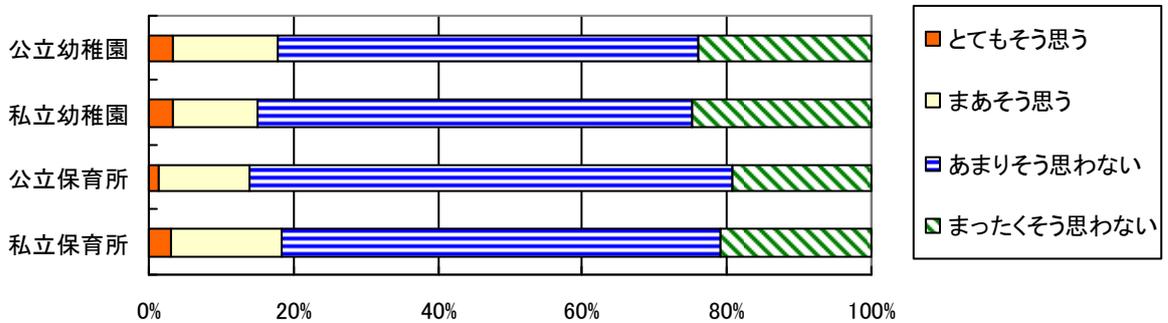
すべての施設で、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」の合計が概ね 80%の回答となっている。



また、本県と全国との比較でも、ほぼ同様の傾向を示している。

園の本来の教育／保育活動の質にマイナスの影響がある

～全国調査～

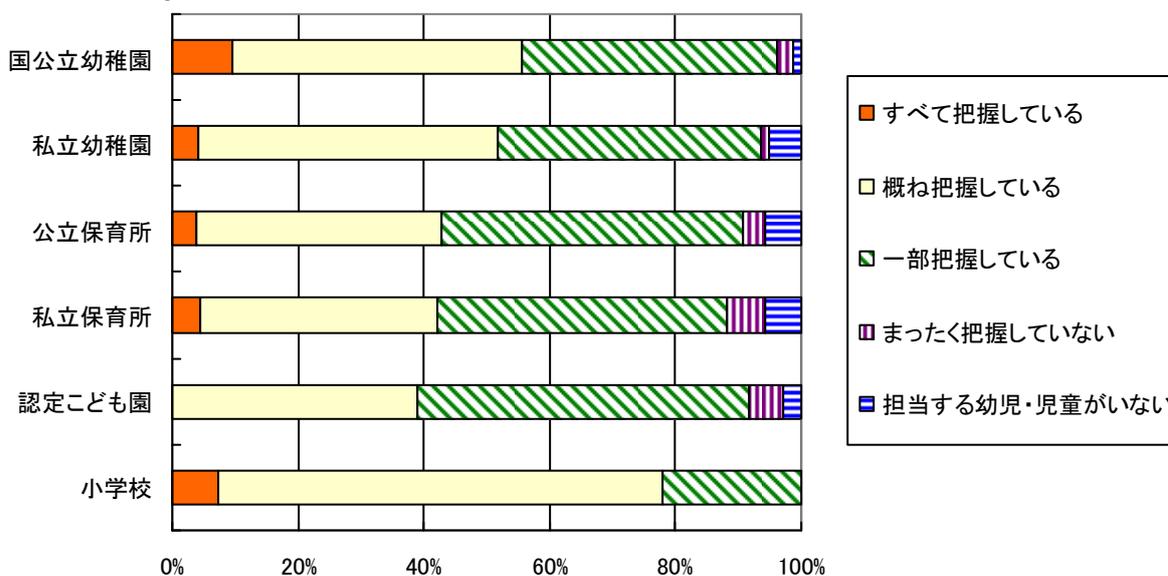


(5) 幼児・児童の習い事・塾について

保育所・幼稚園に比べて、小学校では児童の習い事・塾を把握している傾向にあり、習い事・塾に通うことにも一定の理解をしている。

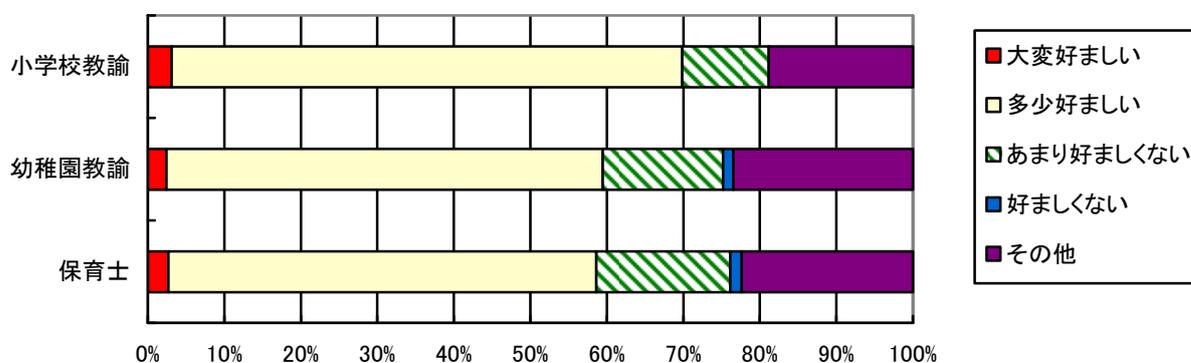
ア 担当する幼児・児童の習い事・塾の状況を把握していますか。

小学校では「すべてを把握している」と「おおむね把握している」の合計が 77.2%と最も多く、次いで幼稚園（52.5%）、保育所（41.2%）となっている。



イ 幼児・児童が習い事・塾に通うことについてどう思いますか。

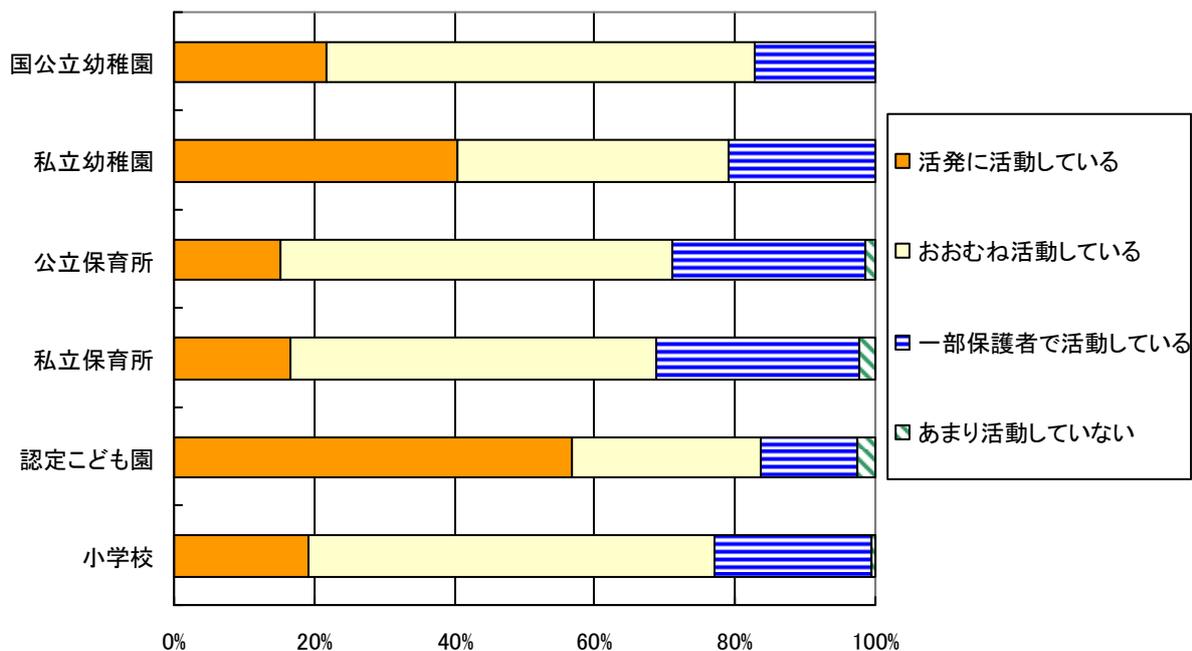
小学校教諭免許を有する回答者は「大変好ましい」と「多少好ましい」の合計が 68.4%となり、幼稚園教諭免許または保育士資格を有する回答者の合計に比べて 10%高い結果となった。



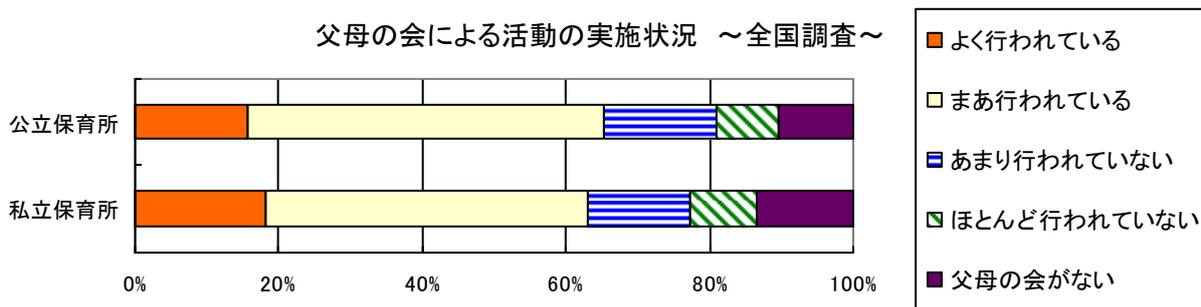
(6) 保護者会（PTA）の活動状況について

「活発に活動している」と「おおむね活動している」の割合の合計が、幼稚園では77.1%、次いで小学校が75.4%、保育所では65.9%の順となっている。

また、「活発に活動している」の割合が、認定こども園では55.3%、私立幼稚園では39.0%と他施設よりも高くなっている。

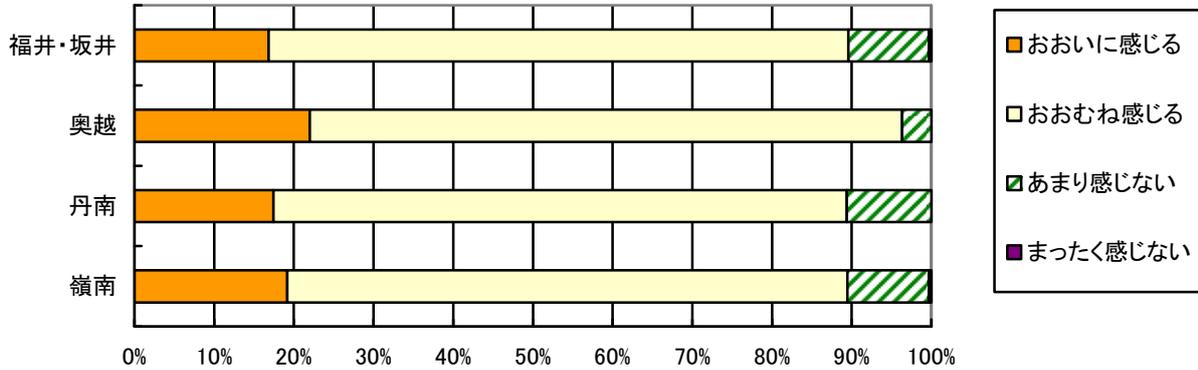


また、全国調査では、「ほとんど行われていない」と「父母の会がない」の割合の合計が、公立保育所では18.8%、私立保育所では22.4%と、本県に比べて圧倒的に多い。



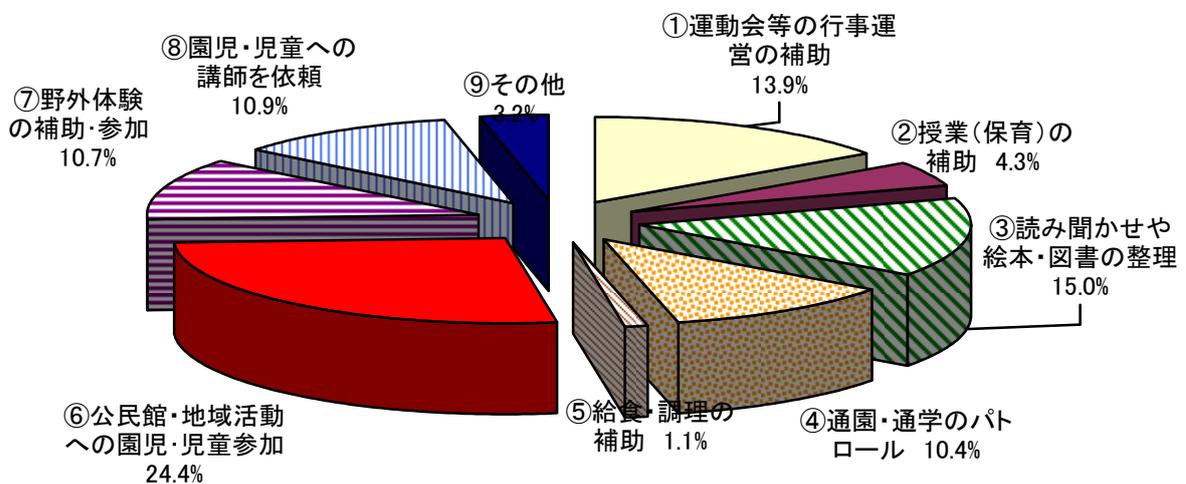
4 地域教育について

(1) 学校等から地域住民との関わりを積極的に進めていく必要を感じますか。
奥越地域を除き、「あまり感じない」と「まったく感じない」の合計が10%を超えている。



(2) 地域住民との関わりについて（該当するすべての事項に「○」）

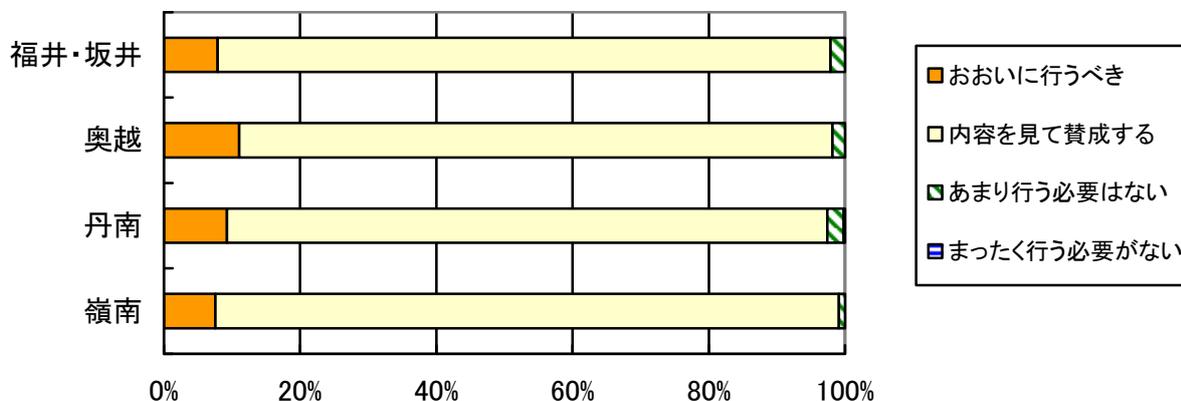
学校等と地域住民との関わりでは、「⑥公民館・地域活動への園児・児童参加(24.4%)」、「①運動会等の行事運営の補助」(13.9%)、「③読み聞かせや絵本・図書の整理」(13.7%)の順となっている。



① 運動会等の行事運営の補助	② 授業(保育)の補助	③ 読み聞かせや絵本・図書の整理
④ 通園・通学のパトロール	⑤ 給食・調理の補助	⑥ 公民館・地域活動への園児・児童参加
⑦ 野外体験の補助・参加	⑧ 園児・児童への講師を依頼	⑨ その他

(3) 地域が主体となった園(校)外活動について

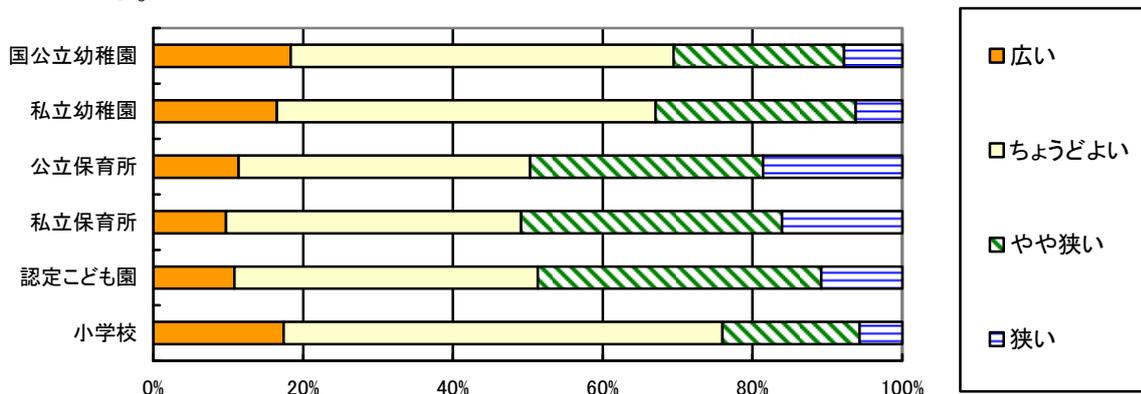
すべての地域で、「内容を見て賛成する」が圧倒的に多い。



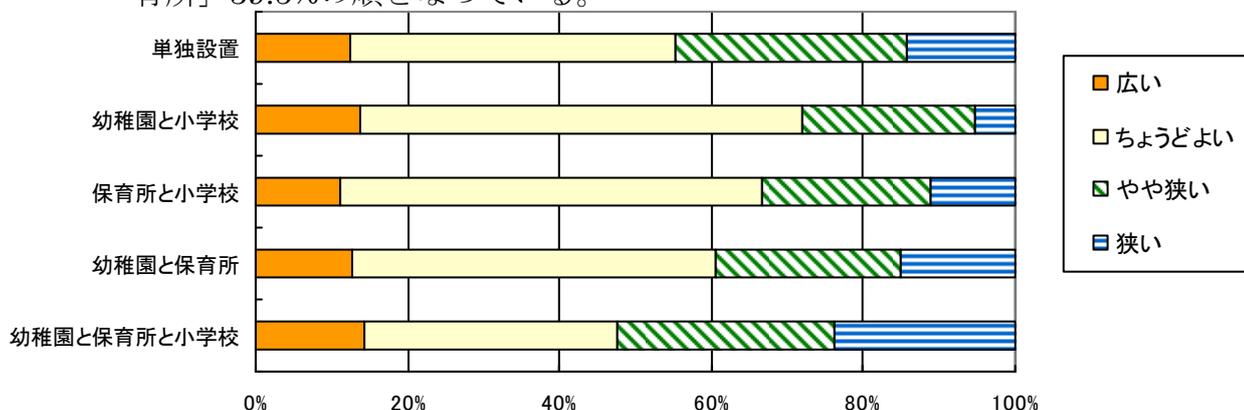
5 その他

(1) 園児・児童が楽しく過ごすために十分な広さがあると思いますか。

公立保育所と私立保育所では、「やや狭い」、「狭い」の合計が50%程度に達している。

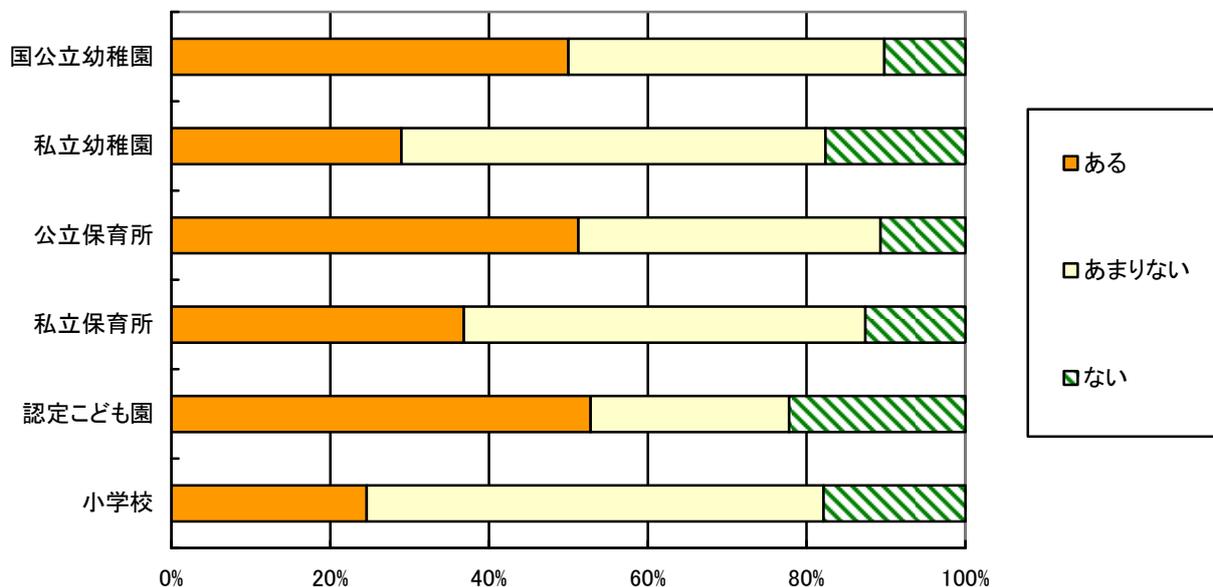


また、施設形態別の状況では、「狭い」と「やや狭い」と回答した割合が、「幼稚園と保育所と小学校」52.4%、次いで「単独設置」44.2%、「幼稚園と保育所」39.5%の順となっている。

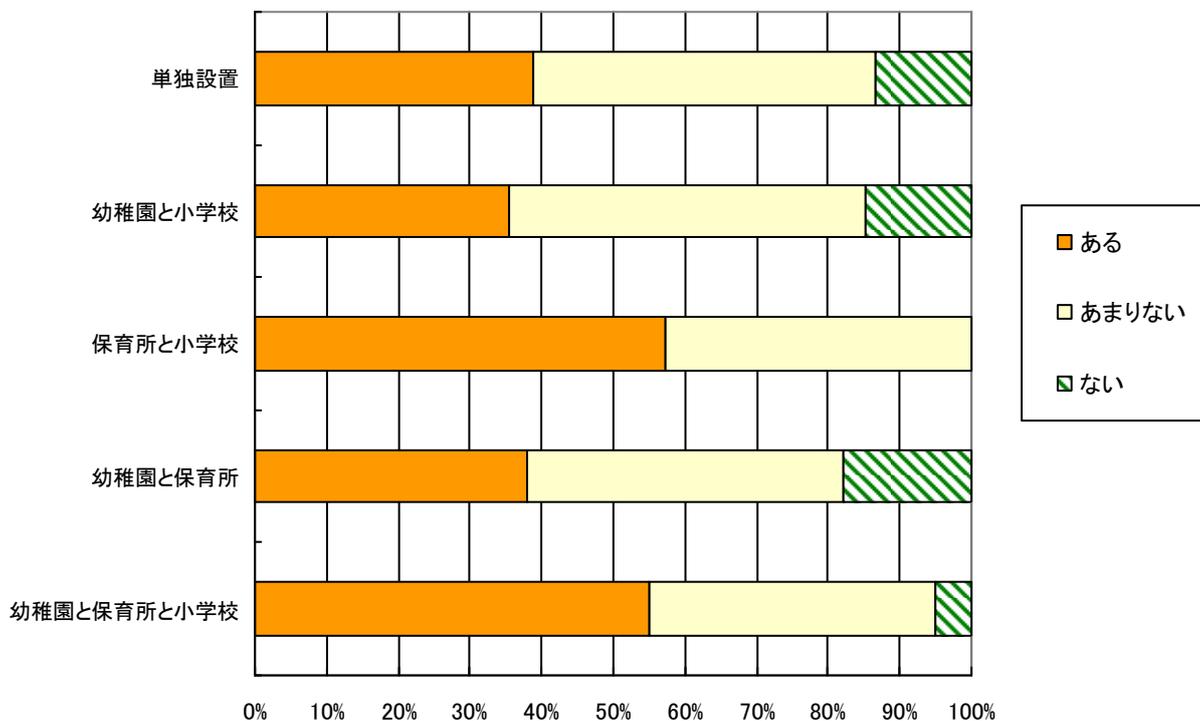


(2) 園児を保育中に園庭に支障があると感じたことがありますか。

公立保育所(50.2%)と認定こども園(50.0%)では「ある」と回答した教職員が50%を超えており、次いで国公立幼稚園(48.6%)となっている。



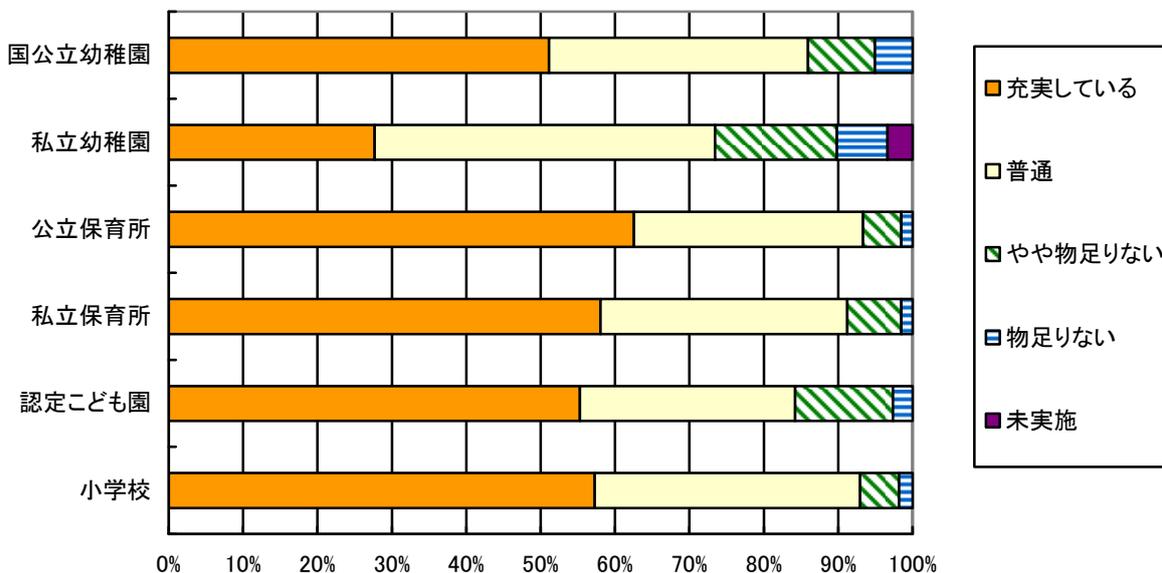
また、施設形態別での状況では、「ある」と回答した割合が、「幼稚園と保育所と小学校」52.4%、次いで「保育所と小学校」44.4%、「単独設置」および「幼稚園と保育所」37.2%の順となっている。



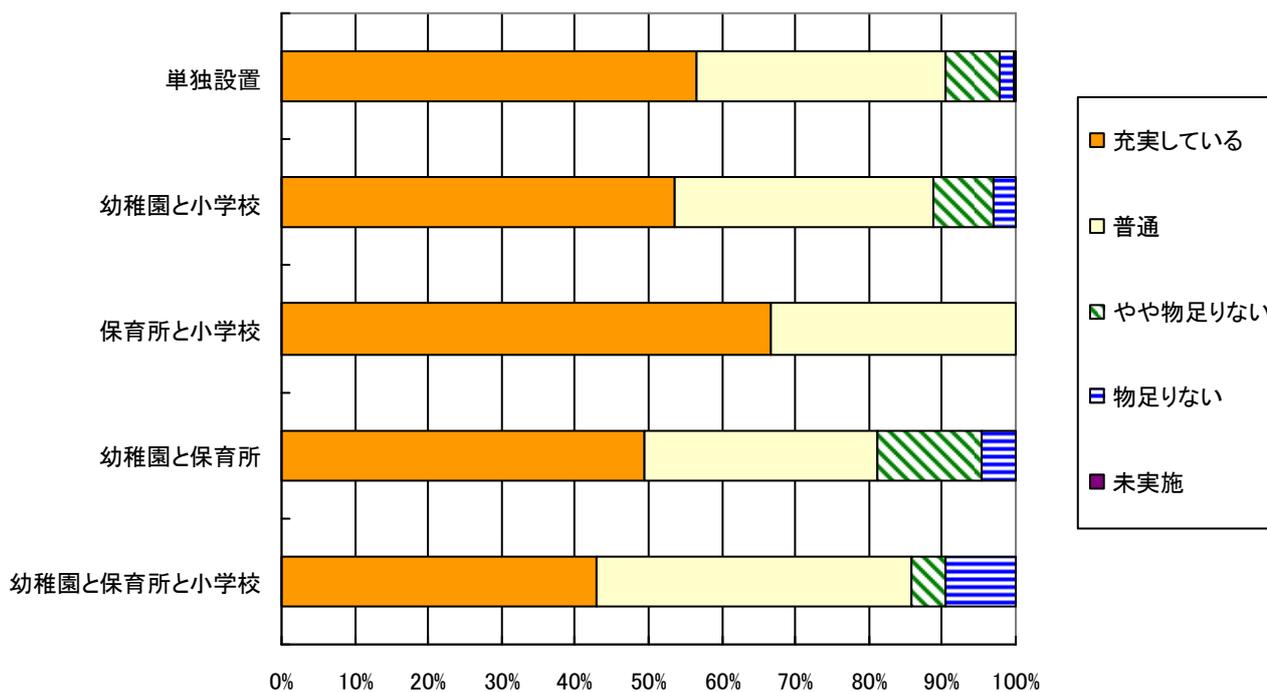
(3) 学校等の給食について

ア 園児・児童にとって満足のものとなっていますか。

「充実している」と回答した比率は、私立幼稚園（27.7%）以外の施設で50%を超えている。

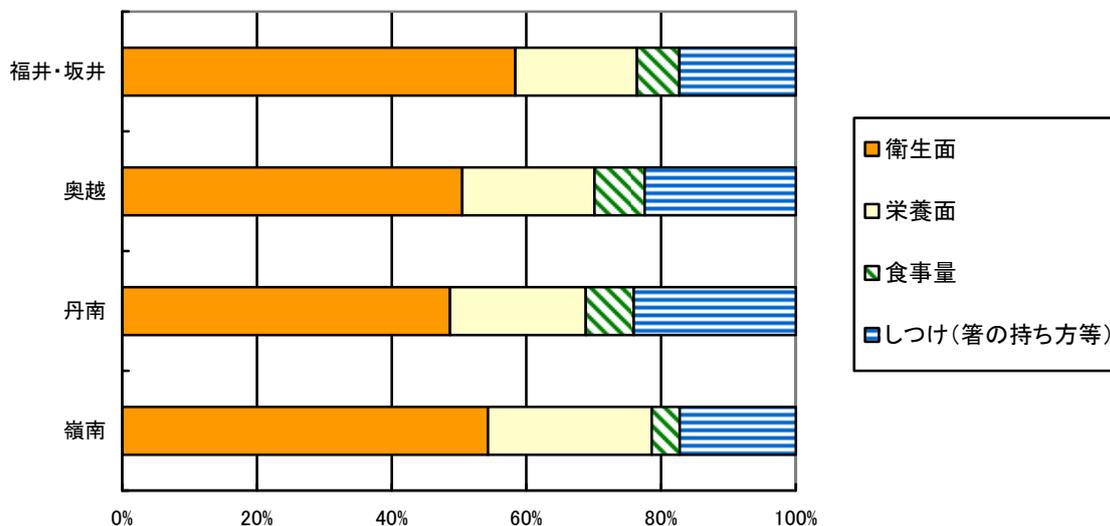


また、施設形態別での状況では、「充実している」と回答した割合は、「保育所と小学校」66.7%、次いで「単独設置」56.0%、「幼稚園と小学校」53.0%の順となっている。

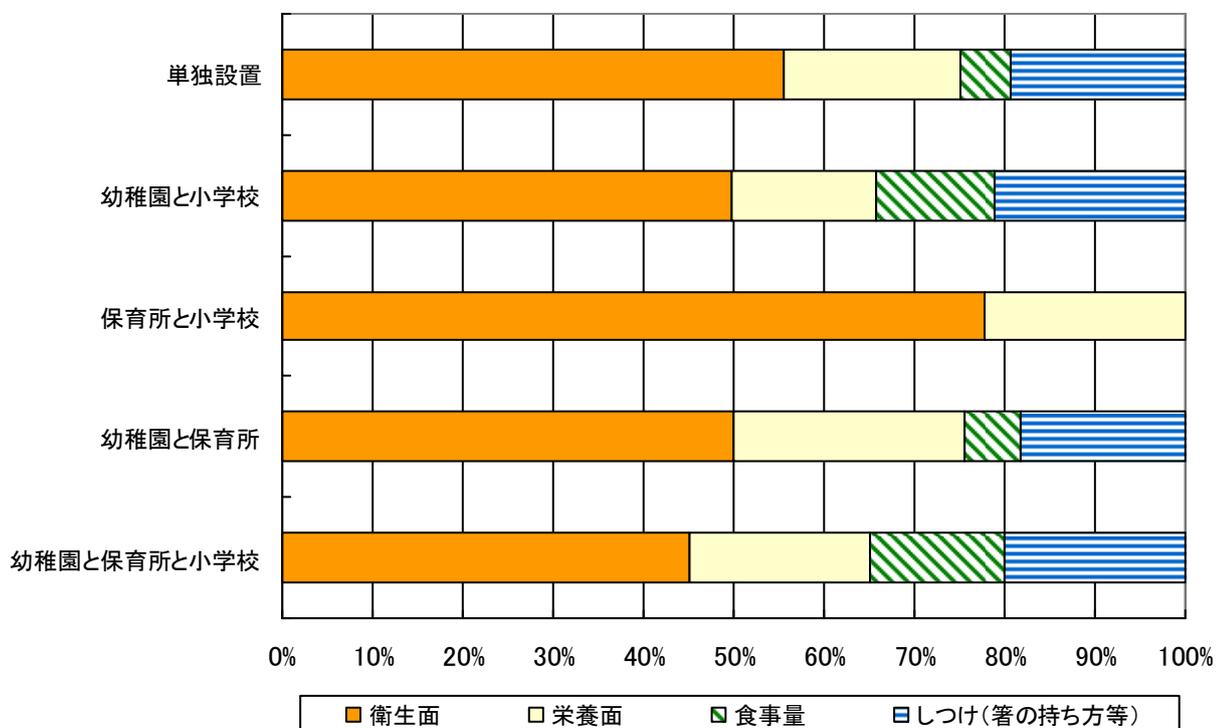


イ 給食で特に注意を払うことについて

「衛生面」と回答した割合が福井・坂井地域(56.0%)および嶺南地域(50.4%)において50%を超える一方、「しつけ(箸の持ち方等)」と回答した割合が奥越地域(21.6%)と丹南地域(22.8%)と20%を超えた。



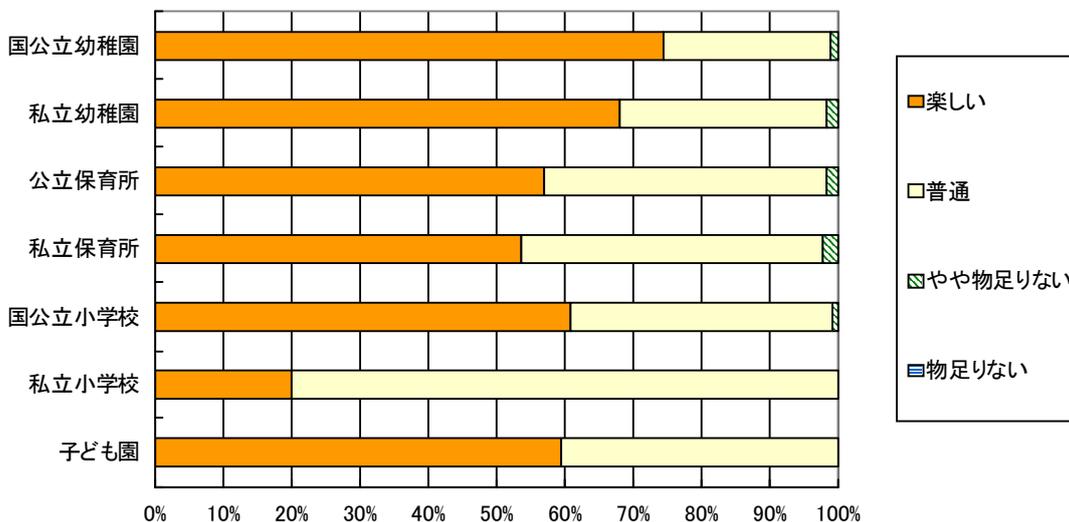
また、施設形態別での状況では、「衛生面」と回答した割合は、「保育所と小学校」77.8%、次いで「単独設置」53.0%、「幼稚園と保育所」47.7%の順となっている。



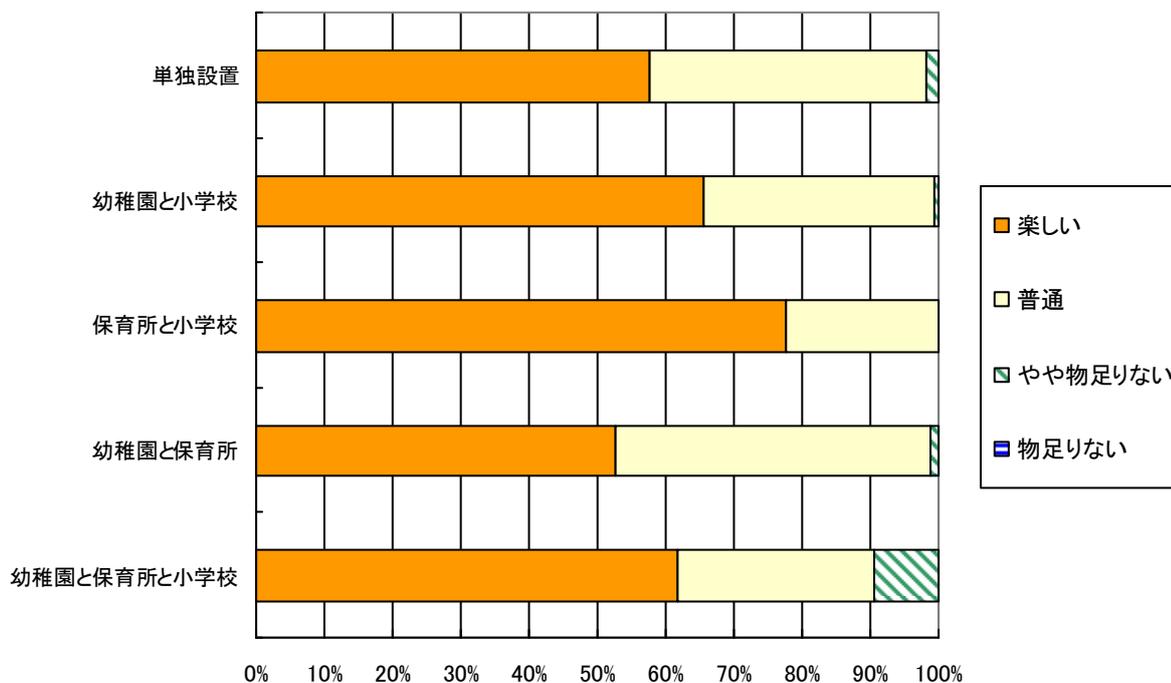
(4) 園児・児童が学校等生活について

ア 園児・児童の学校等生活の満足度はどのように感じますか。

「楽しい」と回答した教職員が全体で 56.5%に達し、特に国公立幼稚園 (70.7%)、私立幼稚園 (66.1%)の順で高かった。

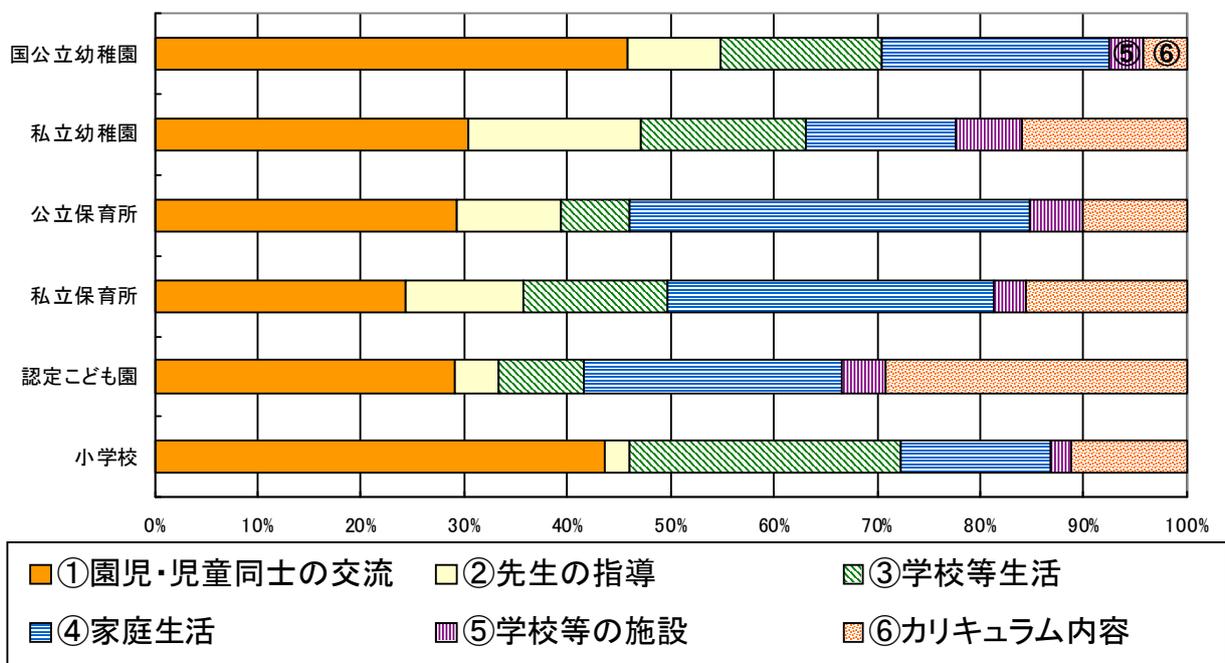


また、施設形態別の状況では、「楽しい」と回答した割合は、「保育所と小学校」77.8%、次いで「幼稚園と小学校」63.2%、「幼稚園と保育所と小学校」61.9%の順となっており、小学校と併設する施設が高くなっている。

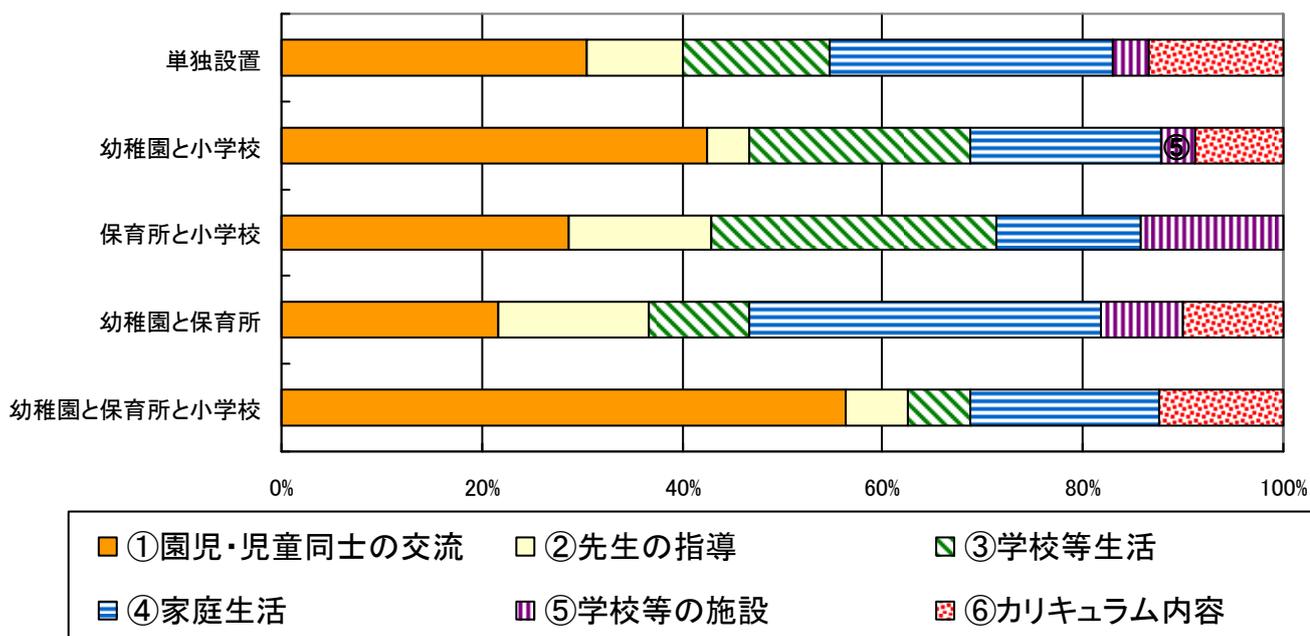


イ 満足度が低い園児・児童の理由は何であると思いますか。

幼稚園と小学校では「園児・児童同士の交流」が最も多く、保育所では「家庭生活」が、子ども園では「園児・児童同士の交流」と「カリキュラム内容」が最も多い結果となった。



また、施設形態別での状況では、「幼稚園と保育所」を除く施設形態で「①園児・児童同士の交流」が最も高い割合（全体割合 24.2%）となっている。「学校等の施設」と回答した割合は全体で 2.9%となっている。



6 自由意見

(1) 本県らしい幼児教育について

No.	意見	施設名	地域名
1	小学校と併設幼稚園が多いのでスムーズに入学できる。	国公立 幼稚園	福井・坂 井
2	成績が良いことが大切なのではなく、自分で夢や目標をしっかり持って生活することが大切だと思う。幼児教育の中で努力すること、感動したことなどを言葉で表現できるようになっていくことを大切にしたい。就学前1年の教育をしっかり行う。特に集団登校などは地域子供会の一員としての第一歩であり、小学校へのスムーズな移行ができると考える。幼稚園も長時間保育になってきつつあるが、これは大きな問題である。	国公立 幼稚園	福井・坂 井
3	3世代同居、大人がよく働く、自然豊か、治安がよい環境の中で大切に育てられている子どもたちばかりだと思います。しかし大切に育てられ過ぎている面もあると思うので、集団の中で自分の意見をしっかり持ち、言葉や態度で表現できる心の強い子、たくましい子を育てていかなくてはならないと思います。	国公立 幼稚園	福井・坂 井
4	福井県の自然を活かした伸々とした幼児教育を望みます。	国公立 幼稚園	奥越
5	祖父母や地域の老人会等の力を借りて、栽培活動や伝承遊び、制作活動を行うことにより、地域との交流にもなり、幼児達にとっても豊かな経験となる。	国公立 幼稚園	丹南
6	教育熱心な県だと思います。幼保一体化施設の確立が進められていますが、やはり幼児教育を落ち着いた環境で取り組める単独幼稚園の存在は、幼稚園だけでなく保育園の発展のためにも必要だと思います。	国公立 幼稚園	丹南
7	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然体験 ・遊びの中からの様々な学びの体験 ・友達とのかかわり多くもてるような遊びの体験 	国公立 幼稚園	嶺南
8	同居の家庭が多いので、子どもを見るたくさんの目がある。	私立 幼稚園	福井・坂 井
9	生活時間が規則正しい。野菜等、他府県より、多くの食材に触れる食育に力を入れていると思う。	私立 幼稚園	福井・坂 井
10	働くお母さんが多い県ではあるが、子どもの触れ合いや子育ての大切さ、楽しさを理解してもらえそうな取組みが必要である。 また、育児休暇や労働時間等の面で育児がしやすいように企業への働きかけをしてほしい	私立 幼稚園	奥越

No.	意見	施設名	地域名
11	海、山、川など自然がたくさんあることを活かし、体験型の教育を取り入れ、幼児期のドキドキ、ワクワクする体験を通して生きる力を身につける。 祖父母と同居している家庭や、地域にもお年寄りがたくさんいるので、いろいろな人との交流を通じて、心の触れ合いができるような教育。	私立 幼稚園	嶺南
12	都会のように小学校受験がほとんどない福井・・・。 目に見える学力だけでなく、人を思いやる気持ち、自然の中で感じたり発見したりする力。	公立 保育所	福井・坂 井
13	自然も多く、環境には恵まれているものの、働く保護者が(両親共)多く、その中で心のゆとりをもった教育をする必要があると思われます。 自然を大いに利用し、親との関わりが十分持てる中で、将来のことも見えてくるのではと思っています。	公立 保育所	福井・坂 井
14	三世代同居家庭が多い中、祖父母の力も借りながら、父母、祖父母、兄弟と大家族の中で、人とのかかわりを十分に持ち、まずは家庭の中の人の気持ちをわかろうとする子を育むよう、啓蒙していくことが重要なのでは？	公立 保育所	福井・坂 井
15	白川文字学など福井での教育のやり方がいいと思う。	公立 保育所	福井・坂 井
16	三世代が関わる教育内容(あそび)があること	公立 保育所	丹南
17	本県は共働き家庭が多く3世代同居家庭も多いです。しかし現代では、同居していても核家族のように食事が別であったり、何かと別々で祖父母も遠慮しているように思います。もっと同居の良さをアピールして活かすようにできるといいと思っています。子どもにとって同居はとても良い環境で父母が行き届かないところを補ってくれるもので心豊かに育ちます。また、祖父母も習い事ばかりではなく孫を育てようと思うように働きかけできないものでしょうか。0才などは保育ママで祖母の方が見ていただいた方が集団より良いのですが。	公立 保育所	丹南
18	祖父母との同居率が全国から見ても上位の福井県。子どもがおじいちゃん、おばあちゃんから教えてもらうことも多く、また、家庭と保育園、学校と地域との連携が近年色々な活動により密接になってきていることを感じます。学校でもゲストティーチャーとして地域の専門の方に教ったり、体験学習を地域の方にお世話になることもあり、子どもたちは一緒に学べることに對し幸せだと思います。今後も地域とのつながりを大切に古里に愛着のもてる子どもの育成に親も務めなければならないと考	公立 保育所	嶺南

No.	意見	施設名	地域名
	す。		
19	保育士も教師もとてもまじめで熱心だと思います。負担がだんだん大きくなっています。社会や家族状況が変わってきても、質を落とさずにいるためにも、職員数を増やして欲しいです。	公立 保育所	嶺南
20	勤勉な県民・教職員の方の気質によるところが大きいと思います(学力トップの結果は)が、もう少し自由でユニークな子どもの発想も育ててほしいと思います。	私立 保育所	福井・坂 井
21	学力面で素晴らしい成果がでていますが、それに伴う心の成長の意識が足りないのでは？学力とともに「人として生きてゆくためのもの」また幼児期の遊びの体験の少なさが気になります。	私立 保育所	福井・坂 井
22	学力はトップでも、人として一番大切な部分が欠けている子が多く感じる。何が大切かを今一度考え直し、幼児教育でその基礎をしっかりと身につけさせる必要があると思う。	私立 保育所	福井・坂 井
23	本県では核家族が増えてきているとはいえ、保育所ではほとんどの子供達が7時(夕方)前には家庭に帰ることができるという実態は、子どもの根っこを育てる大切な事柄の一つだと思います。十分に保護者とかかわることのできた幼児期を過ごせた子どもが小中学校になって成績が伸びている大きな要因だと思いますので、働くお母さん方の支援(勤務態勢の配慮など)をお願いしたいと思います。	私立 保育所	福井・坂 井
24	福井県は自然に恵まれている。幼児期にいろいろな物に触れ、考えて遊ぶ体験をさせていきたい。また、私達の住んでいる大野市は特に地域との関わりを大切にしている街でもあり高齢者もまわりに住んでいる。そんな街であるからこそ、いろいろな人との関わりを大切にし、地域と関わっていきたい。また、自然に恵まれた街だからこそできる食育にも力を入れていきたい。	私立 保育所	奥越
25	学力、体力共に上位にあることは、生活基盤が、比較的しっかりしているからだと思う(共働きが多く、保育園出身が多いと思うので、保育士として自信を持つ。) 心の豊かさが全国一であることを期待している。	私立 保育所	丹南
26	本県らしさを求めるならば、本県の特徴は共働きが多く頑張り屋なので、数値に表れた学力 No1 で十分ではないでしょうか？子どもに全てのことで No1 を求めるのは辛いと思います。 個人的には、学力 No1 より、「将来の夢や目標」、「自分のよいところ」、「人の気持ちがわかる人間」、「人の役に立つ人間」という項目が No1 になれるように、子どもと関わったり、子育てしたりしていきたいと思	私立 保育所	丹南

No.	意見	施設名	地域名
	います。		
27	坂井市丸岡町では、特区になって幼保一元化を進めてきたが、小学校1年の担任から見ると、保育園→幼稚園→小学校と段階を踏んだ方が、自立して就学できるような気がする。近年、登校を渋る1年生が多い。	国公立 小学校	福井・坂 井
28	公立幼稚園で、一年間小学校入学前の年長教育を行い、幼、保から小学校への段差を小さくする。基本的な生活、学習習慣のしつけを行う。	国公立 小学校	奥越
29	祖父母参加型、核家族で育った児童にも、お年寄と触れ合う機会を設け、世代間のつながりを意識した教育をする。	国公立 小学校	丹南
30	学力調査の結果など、気にする必要はないと思う。地域の自然や産業に触れ、体験する活動をたっぷりできること。	国公立 小学校	嶺南
31	私立の保育園が多く、保護者を惹きつけるためか、教育がエスカレートしているよう感じる。入学前は基本的な生活習慣(整理整頓・友達関係・食事・着替え・あいさつ等)をしっかり指導してほしいです。また文字指導、体操、英語よりも体全体を使って伸び伸び活動させることを重視してほしいです。	国公立 小学校	嶺南
32	“人の役に立つ人間”というのは教えられるものではなく、一人一人が感じるものだと思います。本県は仏教精神がある県だと思いますので、“おかげさま”の思いなどが伝わるよう、まず教師自身が心に持てるよう講演や説法などを通して学ぶ機会があり、そこで感じたものを教育(共育)に生かせたらと思います。	子ども園	福井・坂 井
33	・豊かな自然の中で生活し、触れ合えていると思う。 ・両親が働いていても、祖父母が援助しているところがあり、他県より恵まれていると思う。	未記入・ 無効等	福井・坂 井

(2) 家庭教育について

No.	意見	施設名	地域名
1	家に祖父母がいる子どもは、比較的安定しているように思う。規律や節度がある程度守られている。祖父母の力は大きい。祖父母を大切にすることは、父母を大切にすること、自分を大切にすることにつながり、しいては愛国心を育てることにもつながると考える。	国公立 幼稚園	福井・坂 井
2	現代は“子育て支援”という言葉の元に本来、親がすべき部分まで、園や学校が依存され、本来するべき活動ができていない。“家庭がすべき教育”というものを明確に伝えていくことが必要だと思う。	国公立 幼稚園	福井・坂 井

No.	意見	施設名	地域名
3	働いているお母さん方が多い福井県の現状をみるにつけ、毎日忙しく子育てを頑張っているお母さん方が多いと思います。少しでもお母さん方の重荷が軽くなり、余裕をもって子育て家庭教育に向き合っていたら良いと思います。家庭教育は、とても大切だと思います。	国公立 幼稚園	福井・坂 井
4	幼児の間の家庭教育はゆったりと向き合うことのできる家庭の中での育ちが必要である。生活水準を求めあまり、子どもと向き合う時間が限られる生活に疑問を感じる。	国公立 幼稚園	奥越
5	家庭教育には驚くほど差があります。親というか、兄か姉のような方もおられるので、親教育のようなもの(高校生の保育体験など)があると母性父性が育つのではないのでしょうか。	国公立 幼稚園	丹南
6	子育て支援が充実しすぎているため、親が家庭で自分の子について考え、育てていこうとする力が薄れてきていると感じる。 どのようにしたら基本的な生活習慣の確立ができるかなども、園が手を差し伸べているにも関わらず家庭の中で機能できない親をよくみかける。	国公立 幼稚園	丹南
7	核家族も増えてきているが、祖父母との同居をしている家庭もまだ多く、親のみではなく祖父母からも家庭で教育してもらえるので良いと思う。	私立 幼稚園	福井・坂 井
8	教育を施設任せにするのではなく、教育の基本は家庭で、もっと子どもに関心を持ち子育てすることに喜びを感じられるような援助が必要である。	私立 幼稚園	奥越
9	インターネットや雑誌、メディアなど、育児に関して様々な情報が得られる今日は、人、特に教師に頼るのではなく、自分で情報を選び自分で判断して行っている家庭が多くなっている(高学歴も)。 なかなか家庭教育に対して話づらい現状になってきているが、教師自身も専門性を高めて取り組んでいかなければいけないのだと思う。	私立 幼稚園	嶺南
10	2世代、3世代という家族構成の家庭も多いので、上の世代からのアドバイスを若い人たちが受けられる会やサークルがあると良いのでは……。堅苦しいと人が集まりにくいこともあるが、フランクな感じのサークルだと足が向きやすいかなと思う。Ex 先輩から話を聞きたいが、自分の親は県外という若い夫婦が来たくするようなサークル。	公立 保育所	福井・坂 井
11	核家族化が進み、当たり前前の常識だったことがわからない世代になってきています。どうすればよいのか、私も、日々、保護者との対応に悩んでいます。	公立 保育所	福井・坂 井
12	近年、食事・着脱・挨拶など基本的な生活習慣がなぜ大切なのか、どうして必要であるかという根本的なところが子どもを育てていく。親が理解	公立 保育所	福井・坂 井

No.	意見	施設名	地域名
	していないところが見られ、親育ての取り組みが大切ではないかと思う。		
13	福井県は少子化対策として、第3子は保育料無料など色々な支援がありますが、親は0歳の小さい時から保育所に預け、保育所に頼ってしまっているところがあると思います。子どもはその分心が満たされない。子どもの側からの子育て支援が必要だと思います。育児中は仕事を早く切り上げられるなどの子どもを中心に考えて、家庭教育が十分に成されるとよいと思います。	公立 保育所	福井・坂 井
14	5才児の保護者向けの講演会を行っていて参加もあったが、小学校に向けての保護者自身の意識付が大事だと感じる。それに基づいて家庭教育、家庭状況も向上するだろう。そうして、学校の負担が減ってほしい。	公立 保育所	奥越
15	親になってからでは遅いので、若年層から、人間性の教育に力を入れるべきかと思う。	公立 保育所	丹南
16	保護者がSOSと出した時に、どこを窓口にしてよいのかが、あまりはつきりしていなくて、わかりづらい。	公立 保育所	丹南
17	家庭教育とはどうあるべきかを、保護者に明確に伝えるべきであると思う。核家族化や子育ての孤立化などで、家庭教育が不透明化していると思う。 学力はもちろんだが、心の育ちを大切に思うのであれば、明確にし、それを支援するような働きが必要だと思う。	公立 保育所	丹南
18	「家庭でのゲームやテレビの時間が長い。」「降園後や休日に、習い事をしている。」などの理由から、「外で体を動かして遊ぶ。」「じっくり一つのことに取り組む。」「物を大切に使う。」ということができにくいように感じる。 保護者の意識的にもそれでよいとしているケースが多いように思うので、家庭での生活の仕方や大切さを知らせていく必要があるのではないか。	公立 保育所	嶺南
19	家庭教育の支援、指導については、教職員だけでなく、専門機関や地域がもっと密に連携していく必要があると思う。	公立 保育所	嶺南
20	”一人で生きているのではない”という助け合い、感謝する心を育てたい。保育所が拠点となり、地域の子育て家庭の支援を充実させたい。	私立 保育所	福井・坂 井
21	大人、親中心の生活(就寝時間が遅い、食事面など)の家庭が多くなっているように感じる 子ども本来の生活リズムを大事にした生活を送れるように配慮してもらえるとよいと思う。	私立 保育所	福井・坂 井
22	核家族が増え、共働きが多いので、子育てがわからない保護者、子	私立	福井・坂

No.	意見	施設名	地域名
	育てで疲れている保護者が増えているので、園でも今まで以上にサポートしていきたいと思う。 健診などで行く病院や保健センターでも、医療面だけでなく、精神的ケア、子育てのあれこれを支援していただけたらと思う。	保育所	井
23	家庭での触れ合いが少なくなってきた。家庭でしなければならないことを、保育園などに任せる親が多くなってきているように思う。	私立 保育所	奥越
24	上手に“叱る”ことが出来なくなっている親が増えていると思う。 “叱る”と“怒る”の区別も出来ないのだと思う。	私立 保育所	奥越
25	親中心になりがちなの世の中だが、子ども中心の生活が大事だということを意識できるようになってほしい。	私立 保育所	丹南
26	家庭での愛情が一番だと思います。共働きが多く仕方がないことなどは思いますが、なるべくなら母親が家庭で小さい時は子育てすることがよいと思います。地域の人達が未来の日本を担う子ども達を見守ってあげることが大切だと思います。	私立 保育所	丹南
27	家庭教育をあまり固く考えず、親と子が周囲の力を借りながら楽しく関わり、共に成長していけるよう、親の教育ばかりになり過ぎないようにすると良いと思う。	私立 保育所	嶺南
28	学校が家庭教育に支援・指導することはやりすぎだと思うので、賛同できません。	国公立 小学校	福井・坂 井
29	家庭での生活経験が少ないように思う。遊び場へは多く行くかもしれないが、公共の図書館や美術館、お店などの人(お客さんや店員さん)のことを考えた行動がふさわしくない場合があるので、そのような機会も年令に合わせてやってほしいと思う。	国公立 小学校	福井・坂 井
30	宿題に頼っていて、量が多いので、基礎・基本の力は身につけているであろうが、何かに興味を持ったり、自ら学ぼうという姿勢や音楽、美術、博物館等に家族で出掛けようという文化的な意識が低いのではないかな。	国公立 小学校	福井・坂 井
31	たいへんまじめで、熱心な保護者・祖父母が多く、児童の成長を喜び、ともに祝い、また心配したり、手を添えてくれることが多いと感じる。素直で心優しい子が育っていく大きな要因と思う。	国公立 小学校	福井・坂 井
32	早寝早起き朝ごはんの提唱をしているが、親の帰りが遅く、それができない状況がみられる。また、家族団らんが少なくなり、家庭の教育力も落ちている。もっとゆったりとしたものになってほしい。	国公立 小学校	奥越
33	核家族化が進み、親の家庭での教育力が低下していると思う。子どもたちのしつけや基本的な生活習慣が身に付いていないなど、年々そのよ	国公立 小学校	丹南

No.	意見	施設名	地域名
	うな子どもが増えている。 家庭教育学級など、若い親たちの研修の場をもっと充実させ、時間や場所など参加しやすい環境をつくるのが大切と思う。		
34	やはり、祖父母がいる家庭は生活面、情緒面において落ち着いていると感じる。同居の家族が多いことが福井の良さだと思う。	国公立 小学校	丹南
35	家庭教育力に熱心な保護者は講演会に参加するがそうでない保護者は講演会等にもあまり熱心ではない。どの家庭にも啓発できると良い。	国公立 小学校	嶺南
36	子どもが自分のことが自分でできる、自分のことが自分で言えるようなことを意識した家庭教育(手を出しすぎない、しっかり見守る)が必要	国公立 小学校	嶺南
37	学力アップは学歴偏重につながっているだけの様な…。本質的な(開発、創造)能力が高いというわけではないように思います。そういう意味で家庭教育の中に	子ども園	福井・坂 井

(3) 地域教育（近隣住民、公民館・児童館などの活動）について

No.	意見	施設名	地域名
1	児童館へ幼児(5歳児)も利用できるような制度になるといい。5歳児になると小学生との縦割りによる学びが期待できる。	国公立 幼稚園	福井・坂 井
2	当園は、地域の教育力を充分活用しているが、その活用に伴い経費が必要である。ぜひ経費面の補助をお願いしたい。	国公立 幼稚園	奥越
3	幼稚園においても今後ますます地域の方との関わりが大切になると思います。読み聞かせボランティア希望者の方に来園していただきたいと考えています。	国公立 幼稚園	丹南
4	交流は大事だが、守秘義務等もあり、難しい。	国公立 幼稚園	嶺南
5	地域内にいらっしゃる方で、子ども達に伝えたい、素晴らしい能力とかを持っている方は、公民館等において、園児達にも伝えて欲しいです。	私立 幼稚園	福井・坂 井
6	公民館、児童館は成人や小学生向けのプログラムが多いので、保育時間内に園児が参加できるプログラムがあれば参加しやすい。	私立 幼稚園	奥越
7	各家庭が核家族化していますし、地域の方々との触れ合いの中でのいろんな学びがあると思います。いろんな年齢の方々との交わりの中で少しずつ社会性も身につけてくると思うので、地域教育にどんどん参加できるといいなと思います。	私立 幼稚園	丹南

No.	意見	施設名	地域名
8	親そのものが地域に出るのをあまりよく思っていないことも多くみられます。自分たちだけでは絶対に子どもは育たず、自分も何かあったときには、どうにもならないことをしっかり位置づけながら、地域教育そのものを考えてすすめていく必要があると思います。	公立 保育所	福井・坂 井
9	公民館の館長との話の中で公民館の事業として子育て、家庭教育などの講演会など企画したいと思っているが、そのような内容の講演会は人が集まらないとのこと(館長の前任者)なので困っている。核家族化が進んでいるので子供を預けて講演会などに参加できない人が多い。親は学び、子は託児をしてくれたり、子供向けの遊び場を設けてくれる等の配慮が必要だと思います。	公立 保育所	福井・坂 井
10	地域力の弱さ、近隣との付き合いの少なさが近年の問題化と思われる。地域住民(地区単位)での交流の場が増えるような活動を進めていってはどうか。	公立 保育所	福井・坂 井
11	作品提供や出演の要請ばかりでなく、保育園の方にも出向いて頂けるような地域活動があるとよい。	公立 保育所	丹南
12	地域教育は、人格を形成するのにとても大切な場であると思うが、催しのような物ではなく、我慢すること、体で体験することで、いたわりや思いやりが育つような体験・交流の場を多くして欲しいと思う。	公立 保育所	嶺南
13	核家族が多くなっているので、近隣などとの触れ合いなどを進めてもらえるといいと思います。我が園は広範囲からの入園児が多いので、なかなか参加はできません。	私立 保育所	福井・坂 井
14	公民館や児童館の行事に参加したり、公民館や児童館の人に園に来ていただいて、劇などを見せてもらったり、一緒に遊んだりする機会があると良いと思う。公民館や児童館では、昔の遊びや懐かしいものが使われていることがあり、私達大人でも知らないこともあり、新しい発見であり子ども達も楽しめることと思う。	私立 保育所	福井・坂 井
15	福井県は他県に比べ地域教育活動はかなり少ないと思う。近隣住民の方々や子育ての経験の豊富なおじいちゃんおばあちゃんにも協力してもらったりして県民全員で子育てをしていくプランを県サイドで提案してはどうでしょう。	私立 保育所	福井・坂 井
16	勝山市は無料で児童館の利用ができありがたいです。児童館でのイベントもさかんに行われます。	私立 保育所	奥越
17	公民館などに大人だけの“～教室”だけではなく、子どもと一緒に参加できるヨガや体操、映画などしていくと出向く足も増えると思う。	私立 保育所	奥越
18	近隣の方とは園外へ出た際に子どもたちに声をかけて下さり、子ども	私立	丹南

No.	意見	施設名	地域名
	たちも喜んでいる。このような地域で子どもを見守ってくれているのでありがたい。	保育所	
19	地域の方が積極的に学校へ来て、ボランティア講師として子供達に専門的にアドバイスやサポートなどをしてほしい	国公立 小学校	福井・坂 井
20	公民館や児童館は、いろいろな行事や体験の機会を設けてくれている。しかし、なかなか参加する児童がいない。また、高学年になるとスポーツ少年団などの練習があり、なかなか公民館の行事等に参加できない行事である。	国公立 小学校	福井・坂 井
21	特別の行事をするというよりは、日々児童と会ったときにあいさつなどの声かけを地域からしていただけたらうれしい。お互いの顔を知りになり、防犯にも役立ったり、しつけ面で有効になったりすると思う。	国公立 小学校	丹南
22	親と親のつながりが薄くなってきたように思います。もっと横のつながりが持てる活動を行ってほしい。	国公立 小学校	嶺南
23	伝統文化に関する地域との交流・子どもの学びの場が生まれると良いと思う。	子ども園	福井・坂 井
24	地域教育、特に児童館では、子ども達の心理や発達過程などを理解している人が対応できる環境が必要ではないかと思います。よりよい人材の確保をお願いします。	未記入・ 無効等	福井・坂 井

幼児教育に関するアンケート <教職員編>

～県政マーケティング調査～

I 調査に当たって

このアンケートは、県において幼児教育プログラム（仮称）を策定するに当たって、幼児教育の現状等を把握するため、幼稚園および保育所に勤務する幼稚園教諭、保育士等の職員ならびに小学校1・2学年担任教諭の方（以下、「教職員」とします。）を対象にお聞きするものです。

ご多忙と存じますが、アンケートの回答にご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

II 共通設問

ご回答いただいた教職員の方について、以下の設問をお聞きしますので、該当する事項に「○」を付してください。

問1 幼稚園・保育所・学校（以下、「学校等」とします）の区分

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1 国公立幼稚園 | 2 私立幼稚園 | 3 公立保育所 |
| 4 私立保育所 | 5 国公立小学校 | 6 私立小学校 |
| 7 子ども園 | | |

問2 学校等の所在地

- | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|
| 1 福井・坂井地域 | 2 奥越地域 | 3 丹南地域 | 4 嶺南地域 |
|-----------|--------|--------|--------|

問3 教職員の資格（対象となる資格すべて）

- | | | |
|-------|---------|---------|
| 1 保育士 | 2 幼稚園教諭 | 3 小学校教諭 |
|-------|---------|---------|

問4 貴方が勤務する学校等の形態（併設とは同一敷地内とします。）

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 単独設置 | 2 幼稚園と小学校が併設 |
| 3 保育所と小学校が併設 | 4 幼稚園と保育所が併設 |
| 5 幼稚園・保育所・小学校が併設 | |

2 保幼小連携について

以下の設問について、該当する事項に「○」を付してください。

問5 幼稚園・保育所と小学校の交流の有無・実績（平成22年度）

- 1 なし 2 1～2回程度 3 3～4回程度
4 5回以上

問6 教職員間で保幼小連携を進めるための具体的な方策（該当する事項2つまで）

- 1 定期的な連絡会議の開催
2 教職員同士の相互訪問（活動見学）の実施
3 小学校での指導・保育要録の積極的な活用
4 学習指導要領・幼稚園教育要領・保育指針に関する勉強会の開催
5 幼稚園教諭・保育士・小学校教諭の資格・免許の併有促進
6 市（町）間での連携担当職員の配置
7 保幼小連携に関する講演会、先進事例の情報提供

問7 幼稚園または保育所から保護者に対し、小学校入学への準備（主に生活面）に関する情報提供は必要と思いますか。

- 1 とても必要だと思う 2 まあ必要だと思う
3 あまり必要だとは思わない 4 まったく必要だとは思わない

3 家庭教育について

問8 日常的に保護者とよくコミュニケーションがとれていると思いますか

- 1 とてもそう思う 2 まあそう思う
3 あまりそう思わない 4 まったくそう思わない

問9 園児・児童に関する情報や園（学校）での様子を保護者にどのように伝えていきますか。（複数回答可）

- 1 学級懇談会／クラス懇談会 2 保護者会（全体会）
3 講演会 4 保育（授業）参観
5 保育参加 6 個人面談
7 送迎（登下校）時のやりとり 8 連絡帳
9 園（学校）だより 10 学年（学級）便り／クラス便り
11 園（校）内の掲示板（物） 12 保護者会による掲示物
13 園（学校）のHP 14 電子メール
15 その他

問10 問9で「1学級懇談会」、「2保護者会」、「3講演会」、「4保育参観」、「5保育参加」を選択した方にお聞きします。保護者の参加率は平均でどれくらいですか。該当する欄に「○」を付してください。

区分	ほぼ10割	7～9割	4～6割	0～3割
1 学級懇談会				
2 保護者会				
3 講演会				
4 保育参観				
5 保育参加				

問11 学校等で家庭教育を支援・指導することについて

以下の設問について、該当する事項に「○」を付してください。

(1) 学校等の運営上、プラスになる

- 1 とてもそう思う 2 まあそう思う
3 あまりそう思わない 4 まったくそう思わない

(2) 園児・児童の教育・保育環境がよくなる

- 1 とてもそう思う 2 まあそう思う
3 あまりそう思わない 4 まったくそう思わない

(3) 保護者の成長が期待できる

- 1 とてもそう思う 2 まあそう思う
3 あまりそう思わない 4 まったくそう思わない

(4) 保護者の依存を招く

- 1 とてもそう思う 2 まあそう思う
3 あまりそう思わない 4 まったくそう思わない

(5) 教職員の負担が大きい

- 1 とてもそう思う 2 まあそう思う
3 あまりそう思わない 4 まったくそう思わない

(6) 学校等の本来の教育・保育活動の質にマイナスの影響がある

- 1 とてもそう思う 2 まあそう思う
3 あまりそう思わない 4 まったくそう思わない

問12 幼児・児童の習い事・塾について

以下の設問について、該当する事項に「○」を付してください。

(1) 担当する幼児・児童の習い事・塾の状況を把握していますか。

- 1 すべて把握している 2 概ね把握している

3 一部把握している 4 まったく把握していない

5 担当する幼児・児童がいない

(2) 幼児・児童が習い事・塾に通うことについてどう思いますか。

1 大変好ましい 2 多少好ましい 3 あまり好ましくない

4 好ましくない 5 その他 ()

問13 保護者会（PTA）の活動状況について、該当する事項に「○」を付してください。

1 活発に活動している 2 おおむね活動している

3 一部保護者で活動している 3 あまり活動していない

4 地域教育について

問14 学校等の活動での地域住民との関わり

以下の設問について、該当する事項に「○」を付してください。

(1) 学校等から地域住民との関わりを積極的に進めていく必要を感じますか。

1 おおいに感じる 2 おおむね感じる

3 あまり感じない 4 まったく感じない

(2) 現在、地域住民との関わりを実施していますか。該当するすべての事項に「○」を付してください。

1 運動会等の行事運営の補助 2 授業（保育）の補助

3 読み聞かせや絵本・図書の整理 4 通園・通学のパトロール

5 給食・調理の補助 6 公民館・地域活動への園児・児童参加

7 野外体験の補助・参加 8 園児・児童への講師を依頼

9 その他 ()

問15 地域が主体となった園（校）外活動について、該当する事項に「○」を付してください。

1 おおいに行うべき 2 内容を見て賛成する

3 あまり行う必要はない 4 まったく行う必要がない

5 その他

問16 学校等の園庭について、

(1) 園児・児童が楽しく過ごすために十分な広さがあると思いますか。該当する事項1つに「○」を付してください。

1 広い 2 ちょうどよい 3 やや狭い 4 狭い

(2) 園児を保育中に園庭に支障があると感じたことがありますか。該当する

事項1つに「○」を付してください。

- 1 ある 2 あまりない 3 ない

問17 学校等の給食について

(1) 園児・児童にとって満足のいくものとなっていますか。該当する事項1つに「○」を付してください。

- 1 充実している 2 普通 3 やや物足りない 4 物足りない
5 未実施

(2) 給食で特に注意を払うことについて、該当する事項1つに「○」を付してください。

- 1 衛生面 2 栄養面 3 食事量 4 しつけ（箸の持ち方等）

問18 園児・児童が学校等生活について

(1) 園児・児童の学校等生活の満足度はどのように感じますか。該当する事項1つに「○」を付してください。

- 1 楽しい 2 普通 3 やや物足りない 4 物足りない

(2) 満足度が低い園児・児童の理由は何であると思いますか。該当する事項1つに「○」を付してください。

- 1 園児・児童同士の交流 2 先生の指導 3 学校等生活
4 家庭生活 5 学校等の施設 6 カリキュラム内容

IV 自由意見

本県では、小学校および中学校での全国学力調査結果で4年連続全国トップクラスの成績を収めておりますが、小学生にアンケート調査をした結果（H22小学6学年）では「将来の夢や目標」、「自分のよいところ」、「人の気持ちがかかる人間」、「人の役に立つ人間」に関する意識は全国中位となっております。

また、幼児教育は、生涯にわたっての「学びの基礎力の育成」を行うものであり、親との関わり、生活や遊びを通じた学びが重要となっております。

こうした本県の現状を踏まえ、以下の事項にお答えください。

問1 本県らしい幼児教育について、ご意見があれば自由にお書きください。

問2 家庭教育について、ご意見があれば自由にお書きください。

問3 地域教育（近隣住民、公民館・児童館などの活動）について、ご意見があれば自由にお書きください。

ご回答ありがとうございました。

恐れ入りますが、同封した返信用封筒をご利用いただき、投函ください。

【回答期限】 9月30日（金）

【問合せ先】 福井県教育庁義務教育課 幼児教育支援室

電話（0776）20-0732（直通）

幼児教育に関する県ホームページ

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/gimu/youji.html>

問合せ先

福井県教育庁義務教育課 幼児教育支援室

電話 (0776) 20-0732

FAX (0776) 20-0671

E-Mail youji@pref.fukui.lg.jp

幼児教育関連県 HP

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/gimu/youji.html>

